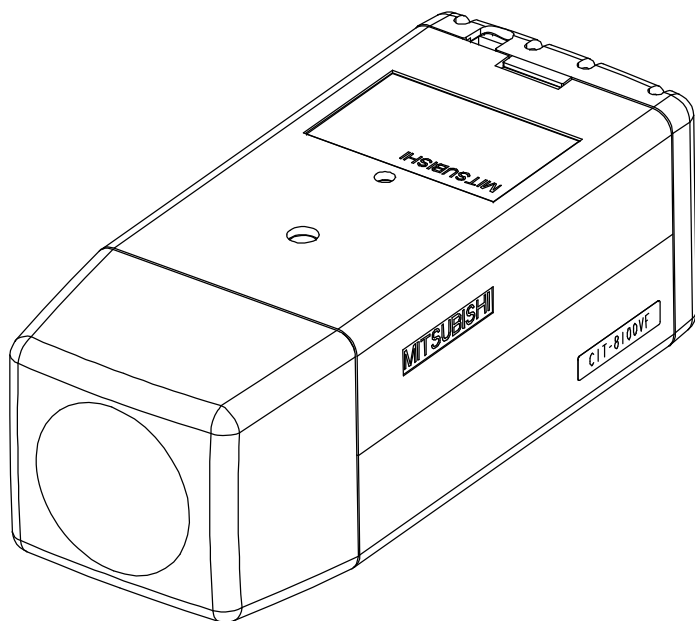


mitsubishi

カラーカメラ
形名

CIT-8100VF

工事説明書



このたびは三菱カラーカメラをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用になる前に、正しく安全にお使い頂くため、この工事説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

SM-Y7976B
U871Z214001B

2011年 1月作成

©2011 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED

[もくじ]






1. 安全のために必ずお守りください	3
2. 構成	6
3. 各部の名称	7
4. 設置場所の選定	8
5. F型コネクタの取付方法	8
6. 同軸ケーブルの接続	10
7. 画角、ピントの調整	11
8. レンズカバー、背面カバーの着脱方法	12
9. カメラの設定	13
設定項目(メニュー)詳細説明もくじ	13
設定項目フローチャート	15
工場出荷時設定	16
各シーンの初期値	17
[電子ズーム機能について]	21
[文字表示機能について]	23
[逆光補正用測光枠について]	33
[SFVについて]	34
[高速シャッターについて]	44
[手動電子増感機能について]	44
[デジタルノイズリダクションについて]	46
[自動電子増感機能について]	50
[フリッカについて]	60
[対応照明の選択「LIGHT」について]	65
[ホワイトバランスについて]	75
[マスキング機能について]	84
10. 接続のしかた	87
11. オプション	89
12. フリッカ補正機能について	89
13. 逆光補正機能について	90
14. マスキングについて	90
15. CCDの白傷について	90
16. お手入れのしかた	90
17. 故障かな?と思ったら	90
18. 保証とアフターサービス	91
19. 仕様	92
20. 外形図	93
21. 据付工事後の確認	94
22. 試運転	94








1. 安全のために必ずお守りください

使用上のご注意説明書

●本文中に使われる「図記号」の意味は次のとおりです。

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

	禁止		指示を守る
	分解禁止		電源プラグを抜く
	水場での使用禁止		

 警告		誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの	
<p>万一異常が発生したら、電源ユニットの電源をすぐ切る！</p> <p>映像が出ない、煙、変な音、においがするなど、異常状態のまま使わないでください。火災の原因となります。</p> <p>このようなときはすぐにカメラコントローラ（電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど）の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理のご依頼を。</p>		<p>異物をいれない</p> <p>金属類や燃えやすいものなどが入ると火災の原因となります。</p> <p>万一異物が入ったときは、すぐにカメラコントローラ（電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど）の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡を。</p>	
<p>水気の多い場所では使わない</p> <p>水気の多い場所での使用は、内部に異物や水などが入ると、火災の原因となります。</p> <p>万一内部に異物や水が入ったときは、すぐにカメラコントローラ（電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど）の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡を。</p>		<p>強度が十分なところに取付ける</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた所、弱い壁面、天井などの不安定な場所に取付けないこと。またバランス良く取付けること。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。取付けは販売店にご依頼を。</p>	
<p>ケースははずさない。改造しない</p> <p>本機の内部にさわったり、改造すると火災の原因となります。</p> <p>内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼を。</p>		<p>指定の電源ユニットを使用する</p> <p>指定のカメラコントローラ（電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど）以外で使用すると、火災の原因となります。詳しくは本機の取扱説明書をご覧ください。</p>	

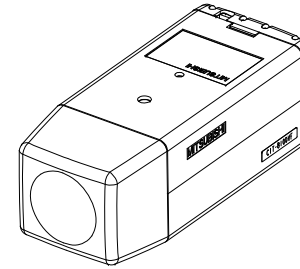
 注意		誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの	
<p>次のような置きかたはしない</p> <p>火災・感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●湿気やほこりの多い所。水、油煙のかかる所。 ●風通しの悪い所、狭い場所に押し込む。 ●じゅうたんや布団の上に置く、布などをかける。 ●熱器具のそば。 ●壁や天井に近付きすぎ。（設置の際は、壁や天井から10 cm以上離してください。） 		<p>重い物をのせない、無理な力を加えない</p> <p>本機の上に重い物を置かないこと。置くとバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。</p> <p>本機に無理な力を加えないでください。無理な力を加えると壊れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。</p>	
<p>同軸ケーブルを傷つけたり、加工しない</p> <p>重い物をのせたり、熱器具に近づけないこと。ケーブルが破損します。</p> <p>ケーブルに傷がついたまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。</p> <p>ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>ケーブルが傷んだらすぐ販売店にご連絡を。</p>		<p>移動させる場合は外部の接続線ははずす</p> <p>同軸ケーブルに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>移動させる時は同軸ケーブル、機器の接続をはずしたことを確認してください。</p>	
<p>定期的にお掃除を</p> <p>販売店におまかせください。定期的な掃除は火災・故障を防ぎます。</p> <p>特に梅雨期の前に行うのが効果的です。</p> <p>内部掃除費用については販売店にご相談ください。</p>		<p>長期間ご使用にならないときは</p> <p>安全のため、必ずカメラコントローラ（電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど）の電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>	
<p>国外での使用禁止</p> <p>本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では使えません。</p> <p>This equipment is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.</p>		<p>車載用機器ではありません</p> <p>衝撃、振動のある所に設置すると故障の原因となります。</p> <p>例) 車両、船舶、航空機、機関室、工専用機械など。</p>	

お願い

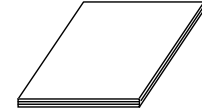
<p>持ち運びはていねいに 本機は落下すると破損する可能性があります。持ち運びは十分に注意して行ってください。</p>	<p>本体のお手入れは お手入れの際はカメラコントローラ(電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど)の電源プラグをコンセントから抜いてください。やわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼり、拭いてください。</p>
<p>ケースを傷めないために ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因となります。 【化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。】</p>	<p>レンズ及びレンズカバーのお手入れは ほこりや汚れが付着した場合は、レンズクリーナやエチルアルコールなどを用いて表面にキズが付かないようにレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラ等の清掃に使うもの)で拭き取ってください。</p>
<p>使用温度範囲でご使用を 本機の使用周囲温度は-10℃～+50℃です。使用周囲温度外でご使用になると故障の原因となることがあります。</p>	<p>カメラを太陽に向けないで カメラを使用しているとき、使用していないときにかかわらずカメラを太陽に向けないでください。</p>
<p>強い光を映さないで 映した映像の一部にスポット光のような強い光があるとスミア(縦縞)やブルーミングを生じることがありますので教えてください。 強い光により画面にスミア(縦縞)やブルーミングは生じますが故障ではありません。</p>	<p>ケーブルは最大延長距離以内で カメラとカメラコントローラ(電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど)の間は50-2Vで最長500m以内で接続してください。500mを超えて接続しますと、電源の供給及び同軸ワイドラインを通じての制御(除く、電源ユニット)が行えなくなります。 カメラとカメラコントローラなど(カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど)の間には、他の機器を接続しないでください。通信ができなくなります。</p>
<p>ケーブル配線 カメラケーブルの配線に際して電灯線やテレビのアンテナ配線に近づけて引き回したり、インターホーンやモニタの近くにある場合、映像やインターホーンに雑音が入る場合があります。その時は配線や位置を変えてください。</p>	<p>近くの電波に気をつけて テレビやラジオの送信アンテナ、モータやトランスなどの強い電界、磁界の近くでお使いになると、雑音が入ったり映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、カメラケーブルに薄鋼電線管を設けて通電してください。 2系統以上のシステム構成のときは、システム毎に電線管を設けてください。</p>
<p>据付場所の強度 取付場所はカメラの重量に十分耐える所を選んでしっかり固定してください。</p>	<p>カメラの設置場所の温度・湿度 カメラを設置される周囲の温度は、-10℃～+50℃、湿度は80%以下(結露しない場所)でご使用ください。特に調理室やボイラー室など温度や湿度の高い所での使用は、性能を低下させますので離れた位置でご使用ください。また、マトリクススイッチャなどの使用電源は90V～110Vでお使いください。</p>

2. 構成

1. CIT-8100VF 形カメラ本体 ----- 1
2. 取扱説明書/保証書 ----- 1

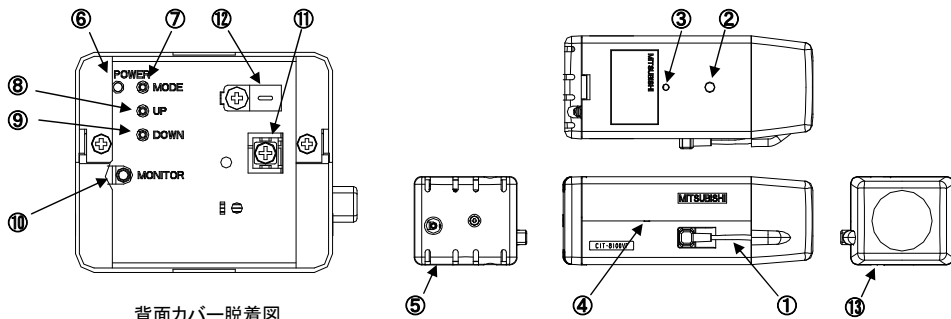


カメラ本体



取扱説明書/保証書

3. 各部の名称



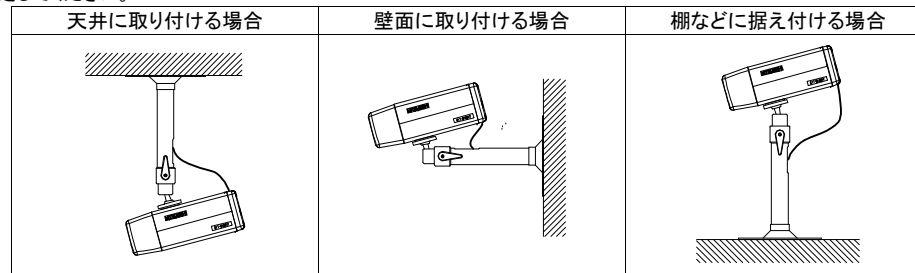
背面カバー脱着図

- ① **レンズコネクタ**
レンズのコネクタを接続します。
- ② **カメラ固定ネジ**
取付足にカメラを固定する際に使用します。
上下にあります。(1/4-20UNC ユニファイネジ)
- ③ **カメラ固定ネジ**
カメラケースに取り付ける際に使用します。
上下にあります。(M4 ネジ)
- ④ **音孔**
音声の入力孔です。マイクが内蔵されています。
- ⑤ **背面カバー**
脱着が可能で、外すとモードアップダウンスイッチ等があります。
- ⑥ **電源表示 LED (POWER)**
電源が入っているとき点灯します。
- ⑦ **モードスイッチ (MODE)**
カメラの設定項目を選択、決定するスイッチです。

- ⑧ **アップスイッチ (UP)**
設定項目の選択、及び設定値をH方向(右方向、番号の増加方向)に設定するスイッチです。
- ⑨ **ダウンスイッチ (DOWN)**
設定項目の選択、及び設定値をL方向(左方向、番号の減少方向)に設定するスイッチです。
- ⑩ **モニタ出力 (MONITOR)**
画角調節、レンズのフォーカス調節時に使用します。映像にノイズ等発生する場合がありますためその他の用途には使用しないでください。
- ⑪ **同軸ケーブルクランプ**
同軸ケーブルの芯線部を接続します。
- ⑫ **接続端子**
同軸ケーブルのシールド部を接続します。
- ⑬ **レンズカバー**
レンズを保護するカバーです。

4. 設置場所の選定

カメラは設置場所によりいろいろな取り付け方向が選べます。設置前に十分検討の上、最適な場所を選定してください。



※取付金具の取り付け工事に関しては、取付金具工事説明書をご覧ください。

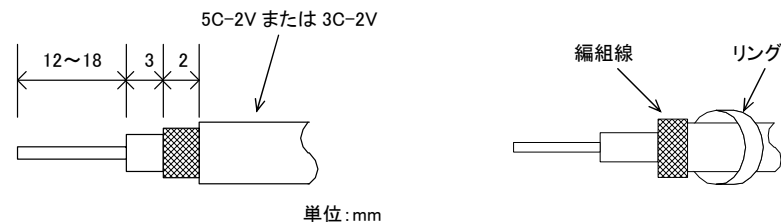
5. F型コネクタの取付方法

■ 使用工具

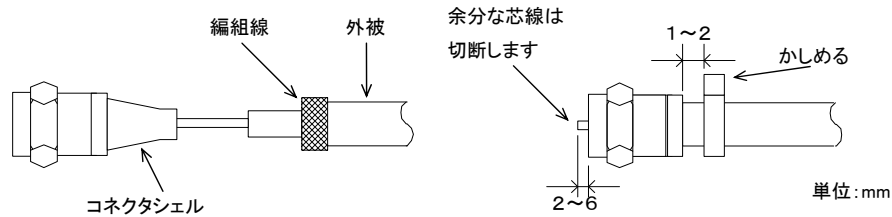
・ はんだごて	1本
・ カッター(ケーブル加工に用いる)	1本
・ ラジオペンチ	1本

F形コネクタ(工事手配)を接続する同軸ケーブルに加工する必要があります。
以下の手順に従って加工してください。

- ①ケーブルを下図のように加工します。
- ②リングをケーブルに通し、編組線を折り返します。



- ③ケーブルの外被(折り返した編組線)がコネクタシェ
ルに当たるまで、コネクタシェルをケーブルの編組
線の下にすべり込ませます。
- ④リングをコネクタシェル側にすべらせて、ペンチで
かしめます。



お願い !

ケーブルの最大延長距離をお守りください

カメラとカメラコントローラ(電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど)の間は 5C-2V[3C-2V]で最長 500m[300m]以内で接続してください。500m[300m]を超えて接続しますと、電源の供給及び同軸フラインジを通じての制御(除く、電源ユニット)が行えなくなります。

カメラとカメラコントローラなど(電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラ)の間には、他の機器を接続しないでください。通信などができなくなります。

注) []内は 3C-2V 使用時の値です。

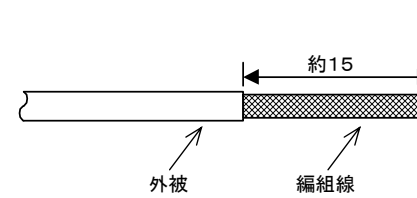
6. 同軸ケーブルの接続

■ 使用工具

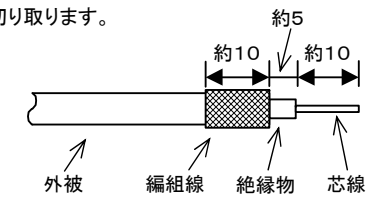
- プラス(+)ドライバー(2番)..... 1本
- カッター(ケーブル加工に用いる)..... 1本
- ラジオペンチ..... 1本

■ カメラへの接続

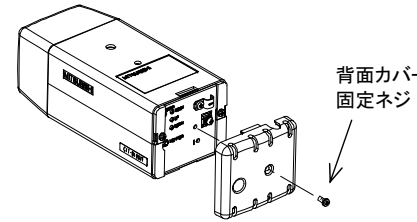
①ケーブル外被を約15mm切り取ります。



②編組線を10mmの長さに切断して外被にかぶせ、ケーブル端より10mmのところで絶縁物を切り取ります。

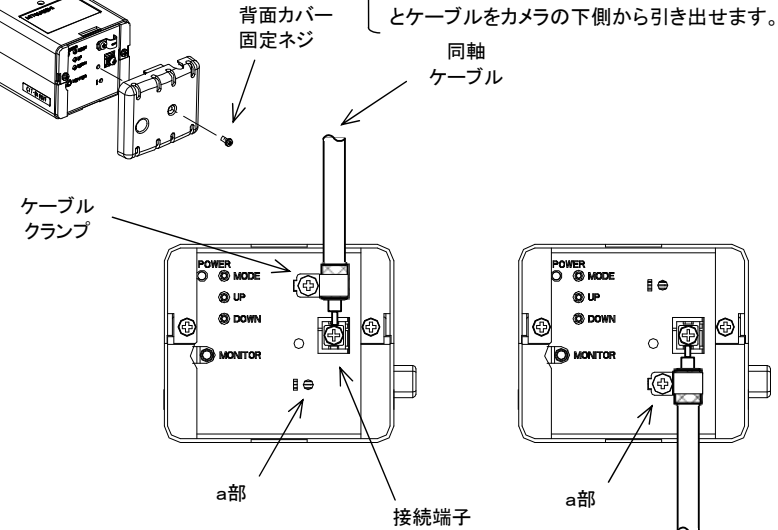


③プラスドライバー(2番)を用い、カメラの背面カバーを留めているネジを緩めて背面カバーをはずします。



④プラスドライバー(2番)を用い、ケーブルの芯線を接続端子に接続し、ケーブルの編組線の部分をケーブルクランプによりしっかりと固定します。

〔ケーブルクランプを下側(a部)に取り付ける。〕
とケーブルをカメラの下側から引き出せます。〕



* MONITOR(モニタ出力)には、2極、φ2.5ミニチュアジャック(JIS C 6560-1979)を使用してください。

7. 画角、ピントの調整

目的に合わせて画角、ピントの調整をおこなってください。

1. 接続

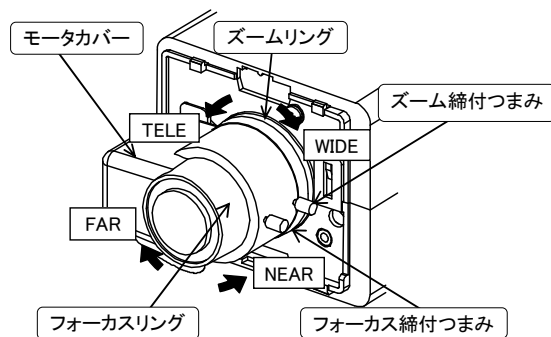
- (1) カメラと電源ユニット間は 5C-2V(3C-2V)で 500m(300m)以内で、接続してください。最大ケーブル長さを超えて接続すると、電源の供給等が行えなくなります。
- (2) カメラと電源ユニット間には、他の機器を接続しないでください。

2. 画角調整(ズーム操作)

- (1) ズーム締付つまみを緩めます。
- (2) ズームリングを回して適当な画角を選択します。リングを「WIDE」側に回すと広角、「TELE」側に回すと望遠になります。
- (3) 「ピント調整」の項目を参考にして、ピントを合わせます。
- (4) ズーム締付つまみをしっかりと締付けます。

3. ピント調整(フォーカス操作)

- (1) フォーカス締付つまみを緩めます。
- (2) フォーカスリングを回してピントを合わせます。リングを「FAR」側に回すと無限遠側、「NEAR」側に回すと至近側にピントが合います。
- (3) フォーカス締付つまみをしっかりと締付けます。



注意

フォーカスリング、ズームリングを過度な力で回転させない

回転が止まる位置から更に過度な力で回転させた場合レンズが破損し正常動作しません。

8. レンズカバー、背面カバーの着脱方法

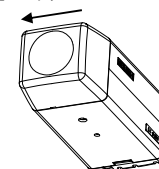
レンズカバーの着脱方法

レンズカバーを外して画角、ピントの調整をしてください。調整が終わりましたらレンズカバーを装着してください。

1. レンズカバーの外し方

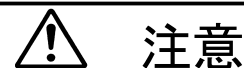
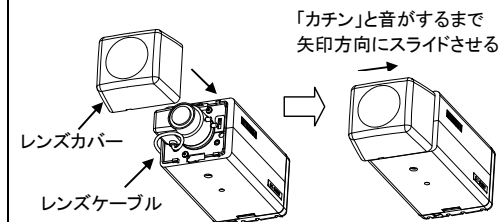
- (1) レンズカバーを矢印方向にスライドさせ外します。

矢印方向にスライドさせ外す



2. レンズカバーの取付け方

- (1) レンズカバーをカメラ本体にはめます。その際レンズケーブルをかみ込まないように注意してください。
- (2) レンズカバーを矢印方向にスライドさせて装着します。

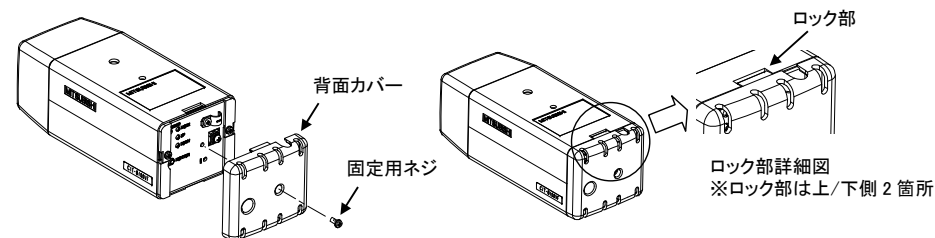


注意

レンズカバーを過度な力でスライドさせない
レンズカバーがレンズに衝突し破損する可能性があります。

背面カバーの着脱方法

1. カメラ後方の固定用ネジを外します。
2. 背面カバー上/下部のロック部を外し、背面カバーを取外します。



3. レンズカバーの取付け方

- (1) レンズカバーをカメラ本体にはめます。その際レンズケーブルをかみ込まないように注意してください。
- (2) レンズカバーを矢印方向にスライドさせて装着します。

9. カメラの設定

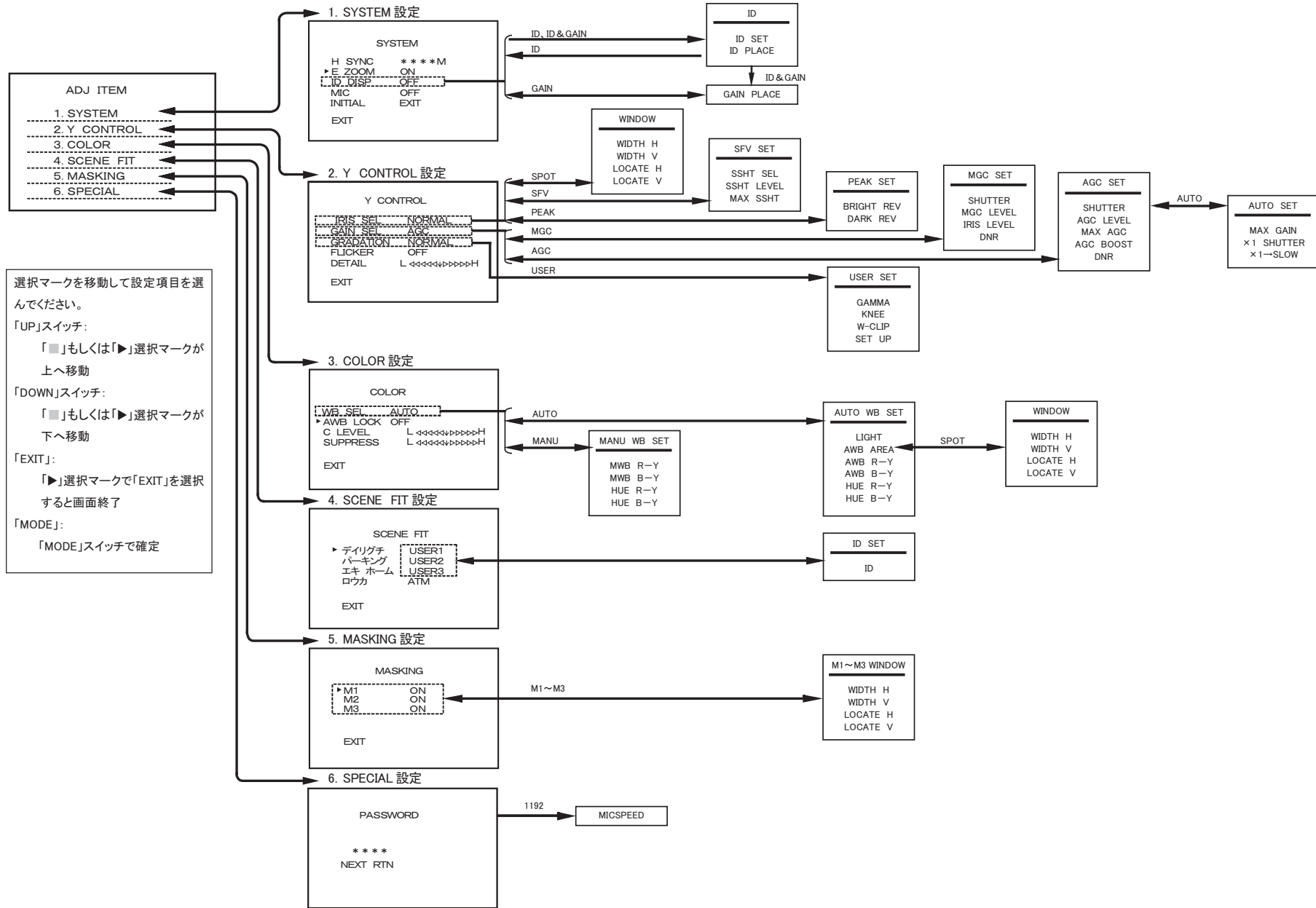
■ 各設定項目(メニュー)は、下記より各説明ページをご参照ください。各設定項目(メニュー)の構成は P.15の設定項目フローチャートをご参照ください。

設定項目(メニュー)詳細説明もくじ

調整項目選択メニュー(ADJ ITEM) -----	18
(1) SYSTEM -----	19
H SYNC : 水平同期位相調整 -----	20
E ZOOM : 電子ズームの設定 -----	21
ID DISP : カメラ ID 表示の選択 -----	22
ID : カメラ ID 表示の設定 -----	23
GAIN : 電子増感倍率表示の設定 -----	24
ID&GAIN : カメラ ID 表示及び電子増感倍率表示の設定 -----	24
ID SET : カメラ ID の設定 -----	25
ID PLACE : カメラ ID 表示位置の設定 -----	26
GAIN PLACE : 電子増感倍率表示位置の設定 -----	27
MIC : マイクの選択 -----	28
INITIAL : 初期化の選択 -----	28
(2) Y CONTROL -----	29
IRIS SEL : アイリスモードの選択 -----	30
SPOT : 逆光補正の設定 -----	30
WINDOW : 測光枠のサイズ、位置設定 -----	31
WIDTH H : 水平方向の測光枠サイズ設定 -----	32
WIDTH V : 垂直方向の測光枠サイズ設定 -----	32
LOCATE H : 水平方向の測光枠位置設定 -----	32
LOCATE V : 垂直方向の測光枠位置設定 -----	32
SFV : スーパーファインビュー機能の設定 -----	34
SFV SET : スーパーファインビュー機能 詳細設定の選択 -----	35
SSHT SEL : スーパーファインビュー機能 高速側シャッタ速度の設定 -----	36
SSHT LEVEL : スーパーファインビュー機能 高速側シャッタレベルの設定 -----	36
MAX SSHT : スーパーファインビュー機能 高速側最大シャッタ速度の設定 -----	37
PEAK : ピーク測光モードの設定 -----	38
PEAK SET : ピーク測光モード詳細設定の選択 -----	39
BRIGHT REV : ピーク測光モード 高輝度出力レベルの設定 -----	40
DARK REV : ピーク測光モード 暗部出力レベル補正の設定 -----	40
GAIN SEL : ゲインコントロールの選択 -----	41
MGC : MGC の選択 -----	41
MGC SET : MGC の設定 -----	42
SHUTTER : MGC 時電子増感倍率又はシャッタ速度の設定 -----	43
MGC LEVEL : MGC レベルの設定 -----	45
IRIS LEVEL : アイリスの設定 -----	45
DNR : MGC 時デジタルノイズリダクションの選択 -----	46
AGC : AGC の選択 -----	47
AGC SET : AGC の詳細設定の選択 -----	48
SHUTTER : AGC 時電子増感倍率又はシャッタ速度の選択 -----	49
AUTO : 自動電子シャッタの設定 -----	50
AUTO SET : 自動電子シャッタ詳細設定の選択 -----	51
MAX GAIN : 電子増感最大倍率の設定 -----	52
x1 SHUTTER : 電子増感 1 倍時シャッタ速度の設定 -----	52
x1→SLOW : 電子増感切替レベルの設定 -----	53
AGC LEVEL : AGC レベルの設定 -----	53
MAX AGC : AGC 最大ゲインレベルの設定 -----	54
AGC BOOST : ゲインレベルアップの選択 -----	54
DNR : AGC 時デジタルノイズリダクションの選択 -----	55
GRADATION : 映像信号の設定 -----	56
USER : ユーザーによる映像信号設定の選択 -----	56
USER SET : ユーザーによる映像信号詳細設定の選択 -----	57
GAMMA : ガンマの設定 -----	58
KNEE : ニーの設定 -----	58

W-CLIP : ホワイトクリップの設定 -----	59
SET UP : セットアップレベルの設定 -----	59
FLICKER : フリッカ補正機能の選択 -----	60
DETAIL : 画質の調整 -----	61
(3) COLOR -----	62
WB SEL : ホワイトバランスモードの選択 -----	63
AUTO : オートホワイトバランス設定の選択 -----	63
AUTO WB SET : オートホワイトバランス詳細設定項目の選択 -----	64
LIGHT : 対応照明の選択 -----	65
AWB AREA : スポット AWB の選択 -----	66
SPOT : スポット AWB の設定 -----	66
WINDOW : スポット AWB 枠のサイズ、位置設定 -----	67
WIDTH H : 水平方向のスポット AWB 枠サイズ設定 -----	68
WIDTH V : 垂直方向のスポット AWB 枠サイズ設定 -----	68
LOCATE H : 水平方向のスポット AWB 枠位置設定 -----	68
LOCATE V : 垂直方向のスポット AWB 枠位置設定 -----	68
AWB R-Y : 赤、シアン方向のオートホワイトバランス微補正 -----	69
AWB B-Y : 青、黄方向のオートホワイトバランス微補正 -----	69
HUE R-Y : 赤、シアン方向の色相の設定 -----	70
HUE B-Y : 青、黄方向の色相の設定 -----	70
MANU : マニュアルホワイトバランス設定の選択 -----	71
MANU WB SET : マニュアルホワイトバランス詳細設定項目の選択 -----	72
MWB R-Y : 赤、青方向のマニュアルホワイトバランス設定 -----	73
MWB B-Y : グリーン、マゼンダ方向のマニュアルホワイトバランス設定 -----	73
HUE R-Y : 赤、シアン方向の色相の設定 -----	74
HUE B-Y : 青、黄方向の色相の設定 -----	74
AWB LOCK : ホワイトバランスロックの選択 -----	75
C LEVEL : 濃淡の設定 -----	76
SUPPRESS : クロマサブレスの設定 -----	76
(4) SCENE FIT (シーンの選択) -----	77
USER* : ユーザー登録シーンの設定と ID 表示の選択 -----	78
ID SET : ユーザー登録シーンの ID 設定 -----	79
(5) MASKING -----	80
M1,M2,M3 : マスキング表示/非表示の選択 -----	81
ON : マスキングの ON/OFF 設定 -----	81
M* WINDOW : マスキングのサイズ、位置設定 -----	82
WIDTH H : 水平方向のマスキングサイズ設定 -----	83
WIDTH V : 垂直方向のマスキングサイズ設定 -----	83
LOCATE H : 水平方向のマスキング位置設定 -----	83
LOCATE V : 垂直方向のマスキング位置設定 -----	83
(6) SPECIAL -----	85
MICSPEED : アイリス速度の設定 -----	86

設定項目フローチャート



工場出荷時設定

工場出荷時には、各設定項目は以下のように設定されています。工場出荷時の状態に設定を戻すときは、「INITIAL」メニュー(P.28)で設定してください。ただし、「4.SCENE FIT」メニューで「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」、「ATM」が選択されているときは、一部の設定項目のみ、各シーンの初期値(P.17)となります。

1. SYSTEM メニュー

H SYNC	:水平同期位相調整
E ZOOM	:電子ズームの設定【ON】
ID DISP	:カメラID表示の選択【OFF】
ID	:カメラID表示の設定
GAIN	:電子増感倍率表示の設定
ID&GAIN	:カメラID表示及び電子増感倍率表示の設定
ID SET	:カメラIDの設定【000000000000】
ID PLACE	:カメラID表示位置の設定【中央下⑤】
GAIN PLACE	:電子増感倍率表示位置の設定【右下⑥】
MIC	:マイクの選択【OFF】
INITIAL	:初期化の選択【EXIT】

2. Y CONTROL メニュー

IRIS SEL	:アイリスモードの選択【NORMAL】
SPOT	:逆光補正の設定
WINDOW	:測光枠のサイズ、位置設定
WIDTH H	:水平方向の測光枠サイズ設定【9】
WIDTH V	:垂直方向の測光枠サイズ設定【9】
LOCATE H	:水平方向の測光枠位置設定【4】
LOCATE V	:垂直方向の測光枠位置設定【4】
SFV	:スーパーファインビュー機能の設定
SFV SET	:スーパーファインビュー機能 詳細設定の選択
SSHT SEL	:スーパーファインビュー機能 高速シャッター速度の設定【AUTO】
SSHT LEVEL	:スーパーファインビュー機能 高速シャッターレベルの設定【-17(左端から3)】
MAX SSHT	:スーパーファインビュー機能 最大シャッター速度の設定【1/8000】
PEAK	:ピーク測光モードの設定
PEAK SET	:ピーク測光モード詳細設定の選択
BRIGHT REV	:ピーク測光モード 高輝度出力レベルの設定【7】
DARK REV	:ピーク測光モード 暗部出力レベル補正の設定【8】
GAIN SEL	:ゲインコントロールの選択【AGC】
MGC	:MGCの選択
MGC SET	:MGCの設定
SHUTTER	:MGC 時電子増感倍率又はシャッター速度の設定 【1/60】
MGC LEVEL	:MGCレベルの設定【0】
IRIS LEVEL	:アイリスの設定【0】
DNR	:MGC時デジタルノイズリダクションの選択【AUTO】
AGC	:AGCの選択
AGC SET	:AGCの詳細設定の選択
SHUTTER	:AGC 時電子増感倍率又はシャッター速度の選択 【AUTO】
AUTO	:自動電子シャッターの設定
AUTO SET	:自動電子シャッター詳細設定の選択
MAX GAIN	:電子増感最大倍率の設定【×16】
x1 SHUTTER	:電子増感1倍時シャッター速度の設定【1/60】
x1→SLOW	:電子増感切替レベルの設定【0】
AGC LEVEL	:AGCレベルの設定【0】
MAX AGC	:AGC最大ゲインレベルの設定【+12(表示右端)】
AGC BOOST	:ゲインレベルアップの選択【OFF】
DNR	:AGC時デジタルノイズリダクションの選択【AUTO1】
GRADATION	:映像信号の設定【NORMAL】
USER	:ユーザーによる映像信号設定の選択

USER SET	:ユーザーによる映像信号詳細設定の選択
GAMMA	:ガンマの設定【3】
KNEE	:ニーの設定【7(表示右端)】
W-CLIP	:ホワイトクリップの設定【1(左端から1)】
SET UP	:セットアップレベルの設定【12(右端から1)】
FLICKER	:フリッカ補正機能の選択【OFF】
DETAIL	:画質の調整【+(右端から4)】

3. COLOR メニュー

WB SEL	:ホワイトバランスモードの選択【AUTO】
AUTO	:オートホワイトバランス設定の選択
AUTO WB SET	:オートホワイトバランス詳細設定項目の選択
LIGHT	:対応照明の選択【ELECTRIC】
AWB AREA	:スポットAWBの選択【NORMAL】
SPOT	:スポットAWBの設定
WINDOW	:スポットAWB枠のサイズ、位置設定
WIDTH H	:水平方向のスポットAWB枠サイズ設定【9】
WIDTH V	:垂直方向のスポットAWB枠サイズ設定【9】
LOCATE H	:水平方向のスポットAWB枠位置設定【4】
LOCATE V	:垂直方向のスポットAWB枠位置設定【4】
AWB R-Y	:赤、シアン方向のオートホワイトバランス微調整【0】
AWB B-Y	:青、黄方向のオートホワイトバランス微調整【0】
HUE R-Y	:赤、シアン方向の色相の設定【+12】
HUE B-Y	:青、黄方向の色相の設定【+12】
MANU	:マニュアルホワイトバランス設定の選択
MANU WB SET	:マニュアルホワイトバランス詳細設定項目の選択
MWB R-Y	:赤、青方向のマニュアルホワイトバランス設定 【0(表示右端)】
MWB B-Y	:グリーン、マゼンダ方向のマニュアルホワイト バランス設定【0(表示右端)】
HUE R-Y	:赤、シアン方向の色相の設定【+12】
HUE B-Y	:青、黄方向の色相の設定【+12】
AWB LOCK	:ホワイトバランスロックの選択【OFF】
C LEVEL	:濃淡の設定【+12】
SUPPRESS	:クロマサプレスの設定【+12】

4. SCENE FIT メニュー

USER*	:ユーザー登録シーンの設定とID表示の選択
ID SET	:ユーザー登録シーンのID設定【USER】

5. MASKING メニュー

M1	:マスキング M1 の表示設定【OFF】
M2	:マスキング M2 の表示設定【OFF】
M3	:マスキング M3 の表示設定【OFF】
ON	:マスキングの ON/OFF 設定
M* WINDOW	:マスキング枠のサイズ、位置設定
M1.M2.M3	
WIDTH H	:水平方向のマスキング枠サイズ設定【10】【10】【10】
WIDTH V	:垂直方向のマスキング枠サイズ設定【10】【10】【10】
LOCATE H	:水平方向のマスキング枠位置設定【8】【24】【8】
LOCATE V	:垂直方向のマスキング枠位置設定【4】【11】【18】

6. SPECIAL メニュー

PASSWORD	:パスワード入力設定【0000】
MICSPEED	:アイリス応答速度の設定【4】

各シーンの初期値

「4.SCENE FIT」メニューの「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」、「ATM」の初期値は以下の通りです。(工場出荷時設定と異なる部分のみ記載してあります)「4.SCENE FIT」メニューで「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」、「ATM」が選択されているとき、「INITIAL」メニューで「START」を選択すると、以下の設定に戻ります。

・デイリグチ	
IRIS SEL	:SFV
MAX GAIN	:×4
・パーキング	
×1→SLOW	:+30
DETAIL	:+15
・エキ ホーム	
IRIS SEL	:SFV
SSHT SEL	:1/1500
×1→SLOW	:+30
MAX GAIN	:×2
DETAIL	:+30
・ロウカ	
IRIS SEL	:SPOT
WIDTH H	:5
WIDTH V	:5
LOCATE H	:6
LOCATE V	:10
×1→SLOW	:+30
FLICKER	:ON
LIGHT(AWB)	:NATURAL
・ATM	
IRIS SEL	:SFV
MAX GAIN	:×4
AGC LEVEL	:+15

設定アイテムの選択

- モードスイッチを押すと、下記の設定アイテム画面が表示され、現在の選択されているアイテム番号が反転します。外部接続のカメラコントローラから下記の設定アイテム画面を表示する場合は、カメラコントローラの取扱説明書をご参照ください。

```
A D J   I T E M
1 . S Y S T E M
2 . Y   C O N T R O L
3 . C O L O R
4 . S C E N E   F I T
5 . M A S K I N G
6 . S P E C I A L
```

アップ、ダウンスイッチでアイテム番号を選択後、モードスイッチを押すと、アイテム内部の各メニューへ遷移します。外部接続のカメラコントローラから設定する場合、モード、アップ、ダウンスイッチは下記の通り対応します。詳しくはカメラコントローラの取扱説明書をご参照ください。

モード : [SHIFT]
アップ : [↑/ON]
ダウン : [↓/OFF]

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

1.SYSTEM	:19ページ
2.Y CONTROL	:29ページ
3.COLOR	:38ページ
4.SCENE FIT	:38ページ
5.MASKING	:38ページ
6.SPECIAL	:38ページ

(1)「SYSTEM」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「1.SYSTEM」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```
S Y S T E M
▶ H   S Y N C           * * * * M
  E   Z O O M           O N
  I   D   D I S P       O F F
  M   I   C             O F F
  I   N I T I A L       E X I T
  E   X   I   T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

H SYNC	:20ページ
E ZOOM	:21ページ
ID DISP	:22ページ
MIC	:28ページ
INITIAL	:28ページ

「H SYNC」メニュー（水平同期位相調整）

「1. SYSTEM」メニューで「H SYNC」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

S Y S T E M
▶ H S Y N C * * * * M
  E Z O O M O N
  I D D I S P O F F
  M I C O F F
  I N I T I A L E X I T

E X I T
    
```

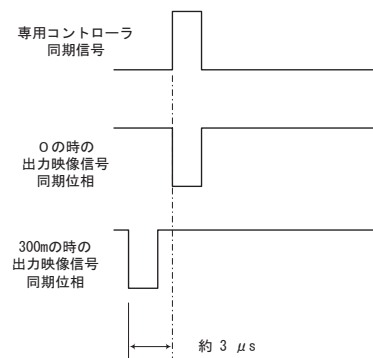
ケーブル伝送で発生する映像信号の遅延を補正します。専用コントローラ～カメラ間の接続距離に応じて設定します。* * * * の位置に 0～1200 の数字が 50 ステップで表示されます。0 の時、専用コントローラ同期信号に対し出力映像信号の同期位相がほぼ一致し、+方向では位相が進みます。50 につき約 $0.5 \mu\text{sec}$ 位相が可変します。
(例)接続距離=300m:300 を設定。

スイッチ説明

UP : * * * * を 0→1200 まで 50 ずつ UPL します。

DOWN : * * * * を 1200→0 まで 50 ずつ DOWN します。

MODE : 設定値を記憶し、「1. SYSTEM」メニューに戻ります。→19 ページへ



注: 上図は概念図であり、実際の波形とは異なります。

「E ZOOM」メニュー（電子ズームの設定）

「1. SYSTEM」メニューで「E ZOOM」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

S Y S T E M
▶ E Z O O M * * * * M
  I D D I S P O F F
  M I C O F F
  I N I T I A L E X I T

E X I T
    
```

電子ズーム機能をON/OFFすることができます。

スイッチ説明

UP/DOWN : 「ON」の表示を、ボタン押下毎に「ON」→「OFF」→「ON」→… と遷移します。

MODE : 設定を記憶し、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→19ページへ

「電子ズーム機能について」

ON選択時、リモートコントローラ(R-2450)からのズーム操作によって、電子的に1倍～2倍の間でズームすることができます。また、現在のズーム倍率をプリセットすることができます。

(最大16ポジション)

注1) 電子ズーム動作時は解像度、S/N が低下しますのでご注意ください。

注2) IRIS SEL 設定が SFV の場合、電子ズームは強制的に1倍となります。

注3) リモートコントローラ(R-2450)を使用しないと、望遠、広角の制御はできません。

「ID DISP」メニュー（カメラ ID 表示の選択）

「1. SYSTEM」メニューで「ID DISP」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

                S Y S T E M
H   S Y N C      * * * * M
E   Z O O M      O N
▶  I D   D I S P  O F F
M   I C          O F F
I N I T I A L    E X I T

E X I T
```

画面に最大 12 文字までの ID (任意の文字列) を表示すること、電子増感倍率の表示を行うことができます。各設定内容は下記の通りです。

[OFF] : ID 及び電子増感倍率の表示設定を行いません。

[ID] : ID のみ画面に表示させたい場合選択します。

[GAIN] : 電子増感倍率のみ画面に表示させたい場合選択します。

[ID&GAIN] : ID 及び電子増感倍率を画面に表示させたい場合選択します。

スイッチ説明

UP : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「ID」→「GAIN」→「ID & GAIN」→「OFF」→…と遷移します。

DOWN : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「ID & GAIN」→「GAIN」→「ID」→「OFF」→…と遷移します。

MODE : 「OFF」表示時、設定を記憶し「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→19ページへ

「ID」表示時、設定を記憶し「ID」メニューに遷移します。→23ページへ

「GAIN」表示時、設定を記憶し「GAIN」メニューに遷移します。→24ページへ

「ID & GAIN」表示時、設定を記憶し「ID & GAIN」メニューに遷移します。→24ページへ

「ID」メニュー（カメラ ID 表示の設定）

「ID DISP」メニューで「ID」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

```

H SYNC   OM
▶ ID DISP  ID   SET
MIC      OFF
```

ID の表示内容、表示位置を変更したい場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

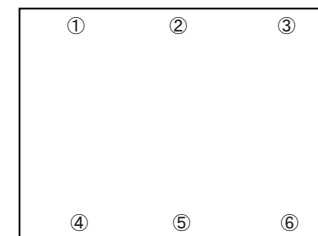
UP/DOWN : 反転表示を、ボタン押下毎に「ID」→「SET」→「ID」…と遷移します。

MODE : 「ID」反転時、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→19ページへ

「SET」反転時、「ID SET」項目に遷移します。→25ページへ

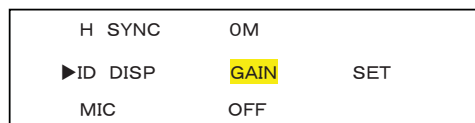
[文字表示機能について]

- CIT-8100VF では12桁のカメラ ID 表示 (画面上に任意の文字列を表示すること) 及び、電子増感倍率表示の選択が可能で、表示位置は 6 カ所 (上部左[①]、上部中央[②]、上部右[③]、下部左[④]、下部中央[⑤]、下部右[⑥]) から選択できます。



「GAIN」メニュー（電子増感倍率表示の設定）

「ID DISP」メニューで「GAIN」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



電子増感倍率の表示位置を変更したい場合、「SET」を選択します。

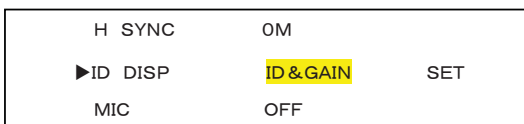
スイッチ説明

UP/DOWN : 反転表示を、ボタン押下毎に「GAIN」→「SET」→「GAIN」…と遷移します。

MODE : 「GAIN」反転時、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→19ページへ
「SET」反転時、「GAIN PLACE」項目に遷移します。→27ページへ

「ID & GAIN」メニュー（カメラ ID 表示及び電子増感倍率表示の設定）

「ID DISP」メニューで「ID & GAIN」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



ID の表示内容、表示位置、電子増感倍率の表示位置を変更したい場合、「SET」を選択します。

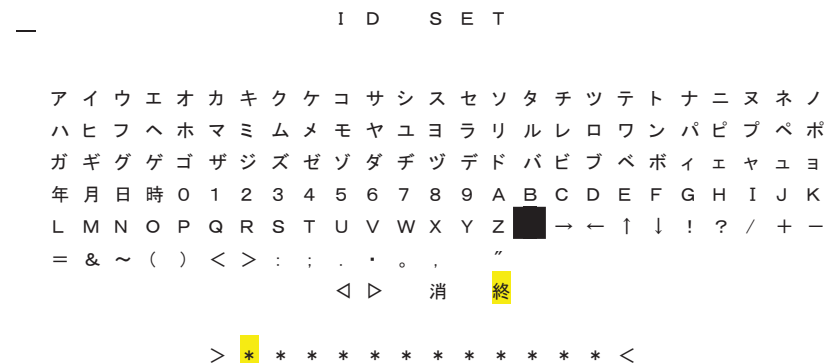
スイッチ説明

UP/DOWN : 反転表示を「ID & GAIN」→「SET」→「ID & GAIN」…と遷移します。

MODE : 「ID & GAIN」反転時、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→19ページへ
「SET」反転時、「ID SET」項目に遷移します。→25ページ

「ID SET」メニュー（カメラ ID の設定）

「ID」、「ID&GAIN」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。



*****部 に設定した文字列 (ID) の表示を行います (最大12文字)。

スイッチ説明

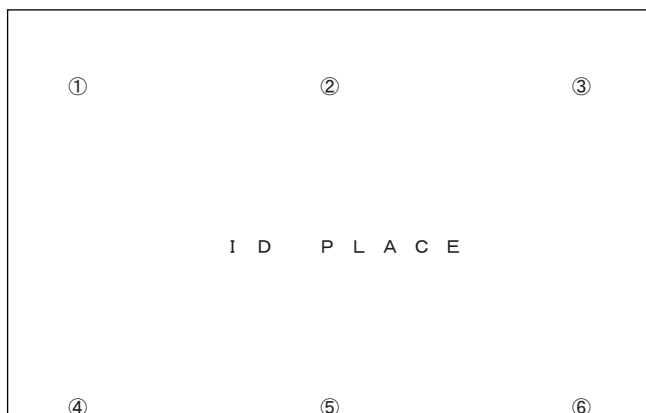
UP : 反転文字が右へ遷移します。右端の場合は、左端へ遷移します。

DOWN : 反転文字が下へ遷移します。下端の場合は、「終」へ遷移します。
「終」の場合は、上端へ遷移します。

MODE : 選択文字が「<」の場合は、ID表示の反転部が1つ左へ遷移します。
: 選択文字が「>」の場合は、ID表示の反転部が1つ右へ遷移します。
: 選択文字が「消」の場合は、ID表示の文字を全て空欄にします (オールクリア)。
: 選択文字が「終」の場合は、「ID PLACE」項目に遷移します。→26ページ
: 選択文字が上記以外の場合は、選択している文字をID表示の反転部に表示し、ID表示の反転部が1つ右に遷移します。

「ID PLACE」メニュー（カメラID表示位置の設定）

「ID SET」項目で“終”を選択すると、下記の画面が表示されます。



IDの表示位置を設定します。

スイッチ説明

UP :ID表示位置を…→①→②→③→④→⑤→⑥→①→…と遷移します。

DOWN :ID表示位置を…→①→⑥→⑤→④→③→②→①→…と遷移します。

MODE :本メニューに「ID」メニューから遷移した場合、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。

→19ページへ

「ID&GAIN」メニューから本項目に遷移した場合、「GAIN PLACE」項目に遷移します。

→27ページへ

※ID表示は、文字の中央位置が①,②,③,④,⑤,⑥の位置に設定されます。

「GAIN PLACE」メニュー（電子増感倍率表示位置の設定）

「GAIN」メニューで「SET」を選択する、または「ID&GAIN」メニューから「ID PLACE」項目にて設定すると、下記画面が表示されます。



電子増感倍率の表示位置を設定します。

注)「ID PLACE」項目で設定したID表示位置と重複した位置や、ID表示位置が①または③の場合②の位置、④または⑥の場合⑤の位置に電子増感倍率表示位置を設定することはできません。

スイッチ説明

UP :増感倍率表示位置を…→①→②→③→④→⑤→⑥→①→…と遷移します。

DOWN :増感倍率表示位置を…→①→⑥→⑤→④→③→②→①→…と遷移します。

MODE :現在の位置を記憶し、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→19ページへ

「MIC」メニュー（マイクの選択）

「1. SYSTEM」メニューで「MIC」を選択します。

ON を選択すると内蔵マイクが有効となり、OFF で無効となります。

注) 使用していない場合は OFF を選択してください。カメラコントローラなど(電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど)に音声カード(別売)を使用しない場合は音声は使用できません。

スイッチ説明

UP/DOWN : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「ON」→「OFF」…と遷移します。

MODE : 設定を記憶し、「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→19ページへ

「INITIAL」メニュー（初期化の選択）

「1. SYSTEM」メニューで「INITIAL」を選択します。

「START」選択で、各メニューの設定内容を工場出荷時設定(P.15)に初期化します。

また、「4.SCENE FIT」メニューで現在選択されているシーンの設定内容を初期化します。

USER1～USER3 が選択されている場合は工場出荷設定に、その他のシーンが選択されているときは、各シーンの初期値(P.17)に戻します。

注)「4.SCENE FIT」メニューで、現在選択されているシーン以外の設定内容は初期化されません。

スイッチ説明

UP/DOWN : 「EXIT」の表示を、ボタン押下毎に「EXIT」→「START」→「EXIT」…と遷移します。

MODE : 「START」表示時、メニュー各設定値をクリアして「1.SYSTEM」メニューに戻ります。「EXIT」表示時、何も処理せずに「1.SYSTEM」メニューに戻ります。→19ページへ

(2)「Y CONTROL」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「2.Y CONTROL」を選択したとき下記画面が表示されます。

```
Y C O N T R O L  
  
▶ I R I S S E L N O R M A L  
G A I N S E L A G C  
G R A D A T I O N N O R M A L  
F L I C K E R O F F  
D E T A I L L < < < < < - > ↓ > > > H  
  
E X I T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

IRIS SEL	:30ページ
GAIN SEL	:38ページ
FLICKER	:38ページ
DETAIL	:38ページ

「IRIS SEL」メニュー（アイリスモードの選択）

「2.SYSTEM」メニューで「IRIS SEL」を選択します。

アイリスの設定を行います。

[NORMAL] : 標準の撮像条件です。画面全体の平均光量により明るさが制御されます。

[SPOT] : 逆光条件、過順光の時使用します。次メニューで設定した測光枠内の信号レベルが最適になるようアイリス、AGC 等が制御されます。

[SFV] : スーパーファインビュー機能が有効になり、明るすぎて見づらい部分の感度を抑え、暗すぎて見づらい部分の感度を上げるにより、画面全体としての感度がバランスのとれた映像で映し出されます。

[PEAK] : ピーク測光機能が有効になり、部分的に明るい所が見やすくなるように明るさが制御されます。

スイッチ説明

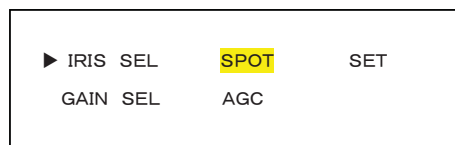
UP : 「NORMAL」の表示が、ボタン押下毎に、…→「SPOT」→「SFV」→「PEAK」→「NORMAL」→…と遷移します。

DOWN : 「NORMAL」の表示が、ボタン押下毎に、…→「PEAK」→「SFV」→「SPOT」→「NORMAL」→…と遷移します。

MODE : 「NORMAL」表示時、設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→29ページへ
「SPOT」表示時、設定を記憶し「SPOT」メニューに遷移します。→30ページへ
「SFV」表示時、設定を記憶し「SFV」メニューに遷移します。→34ページへ
「PEAK」表示時、設定を記憶し「PEAK」メニューに遷移します。→38ページへ

「SPOT」メニュー（逆光補正の設定）

「IRIS SEL」メニューで「SPOT」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



逆光補正用測光枠の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP/DOWN : 反転表示を「SPOT」→「SET」→「SPOT」…と遷移します。

MODE : 「SPOT」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→29ページへ
「SET」反転時、「WINDOW」メニューに遷移します。→31ページへ

「WINDOW」メニュー（測光枠のサイズ、位置設定）

「SPOT」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示され、画面上に測光枠が明るく表示されます。

```
W I N D O W  
  
▶ W I D T H   H   * *  
  W I D T H   V   * *  
  
  L O C A T E   H   * *  
  L O C A T E   V   * *  
  
E X I T
```

各項目にて測光枠のサイズ、位置を設定します。詳しくは、「逆光補正用測光枠について(P.33)」をご参照ください。

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→29ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

WIDTH H : 32ページ
WIDTH V : 32ページ
LOCATE H : 32ページ
LOCATE V : 32ページ

「WIDTH H」メニュー（水平方向の測光枠サイズ設定）

水平方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

UP : WIDTH Hの**が1→15まで変化します。

DOWN : WIDTH Hの**が15→1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→31ページへ

「WIDTH V」メニュー（垂直方向の測光枠サイズ設定）

垂直方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

UP : WIDTH Vの**を1→15まで変化します。

DOWN : WIDTH Vの**を15→1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→31ページへ

「LOCATE H」メニュー（水平方向の測光枠位置設定）

水平方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

UP : LOCATE Hの**を1→15まで変化します。

DOWN : LOCATE Hの**を15→1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→31ページへ

「LOCATE V」メニュー（垂直方向の測光枠位置設定）

垂直方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

UP : LOCATE Vの**を1→15まで変化します。

DOWN : LOCATE Vの**を15→1まで変化します。

MODE : 設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→31ページへ

[逆光補正用測光枠について]

- 逆光補正用の測光枠は画面上の15(水平)×15(垂直)に分割した枠の中でエリアを設定することができます。設定メニュー「WIDTH」では測光枠の右下角を移動して大きさを、「LOCATE」では測光枠の左上角を移動して測光枠の位置を設定します。

測光枠設定例(画面上にはマスや位置番号は表示されません。)

	水 平														
位置番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1															
2															
3															
4															
5					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
6					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
7					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
8					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
9					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
10					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
11					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
12					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
13					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
14					■	■	■	■	■	■	■	■	■		
15					■	■	■	■	■	■	■	■	■		

設定エリア : ■ (画面上では明るく表示されます。)

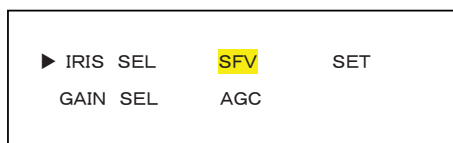
例 : サイズ設定(水平、垂直) = (9、9)

位置設定(水平、垂直) = (5、5)

※設定項目「WIDTH」、「LOCATE」設定中は、設定値の増減と連動して設定エリアが明るく表示されます。

「SFV」メニュー（スーパーファインビュー機能の設定）

「IRIS SEL」メニューで「SFV」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



スーパーファインビュー機能の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP/DOWN : 反転表示を「SFV」→「SET」→「SFV」…と遷移します。

MODE : 「SFV」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→29ページへ
「SET」反転時、「SFV SET」メニューに遷移します。→35ページへ

「SFV」について

- SFVとは、感度の高い低速シャッタによる撮影と感度の低い高速シャッタによる撮影を同時に行い、映像の暗い部分を感度の高い低速シャッタで得られた映像、映像の明るい部分を感度の低い高速シャッタで得られた映像に画面合成することで、明るい部分と暗い部分の撮影を同時に可能としている機能です。
- SFV時の低速側シャッタ速度は、1/60sもしくは 1/100sのいずれかになります。高速側シャッタ速度は、「SSHT SEL」メニューにて設定可能です。

SFV動作時は下記の注意が必要です。

- (1) SFVは、暗いところでは効果が働きません。約 100lx 以下で自動的に OFF になります。
- (2) SFVは画面合成を行っているため、合成境界部にノイズが発生することがあります。境界部のノイズは、低速側シャッタ速度と高速側シャッタ速度の差が大きくなればなるほど目立つようになります。また、明るい部分と暗い部分がはっきりと分かれていない被写体の場合に目立つ傾向があります。このような被写体の場合は、高速側シャッタ速度をあまり速く設定しないようにしてください。
- (3) SFVの高速側シャッタ速度は 1/1200s以上と高速であるため、放電灯照明下または高周波点灯照明下での撮影では以下のようなフリッカが発生する恐れがありますので、ご注意ください。
 - [50Hz 電源地区]
 - 高輝度部の映像が激しいフリッカが発生する
 - 高輝度部の色が激しく赤っぽくなったり青っぽくなったりする
 - [60Hz 電源地区]
 - 高輝度部の映像がゆっくりとした変化で大きくなったり小さくなったりする
 - 全体の色がゆっくりとした変化で赤っぽくなったり青っぽくなったりする

「SFV SET」メニュー（スーパーファインビュー機能 詳細設定の選択）

「SFV」メニューで「SET」を選択したとき、下記画面が表示されます。



各項目にて、高速側シャッタ速度の設定を行います。詳しくは「SFVについて」をご参照ください。

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→29ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

SSHT SEL	:36ページ
SSHT LEVEL	:36ページ
MAX SSHT	:37ページ

「SSHT SEL」メニュー（スーパーファインビュー機能 高速側シャッタ速度の設定）

「SFV SET」メニューで「SSHT SEL」を選択します。

高速側シャッタ速度を設定します。「AUTO」設定時は高速側シャッタ速度を被写体に応じて自動で設定するモードに、「AUTO」設定以外では高速側シャッタ速度を設定された値に固定とします。
高速側シャッタ速度を高速に設定するほど、明暗の差が大きい被写体に対応できます。

スイッチ説明

UP : ボタン押下毎に「AUTO」→「1/1200」→「1/1500」→「1/2000」→「1/2500」→「1/3000」→「1/4000」→「1/5000」→「1/6000」→「1/8000」→「1/12000」→「1/16000」と遷移します。
DOWN : ボタン押下毎に「1/16000」→「1/12000」→「1/8000」→「1/6000」→「1/5000」→「1/4000」→「1/3000」→「1/2500」→「1/2000」→「1/1500」→「1/1200」→「AUTO」と遷移します。
MODE : 設定値を記憶して「SFV SET」メニューに戻ります。→35ページへ

注) 高速側シャッタ速度を高速に設定すると、低速側シャッタ映像と高速側シャッタ映像の合成部にノイズが発生する場合があります

「SSHT LEVEL」メニュー（スーパーファインビュー機能 高速側シャッタレベルの設定）

「SFV SET」メニューで「SSHT LEVEL」を選択します。

「SSHT SEL」設定が「AUTO」の時の、高速側シャッタによる映像の明るさを設定します。
H方向で高速側シャッタによる映像が明るくなるように、L方向で暗くなるように制御します。
※本設定は、「SSHT SEL」設定が「AUTO」の時のみ有効です。

スイッチ説明

UP : H方向に↓が移動します。
DOWN : L方向に↓が移動します。
MODE : 設定を記憶して「SFV SET」メニューに戻ります。→35ページ

「MAX SSHT」メニュー（スーパーファインビュー機能 高速側最大シャッタ速度の設定）

「SFV SET」メニューで「MAX SSHT」を選択します。

「SSHT SEL」設定が「AUTO」の時の、高速側シャッタ速度の最大速度を設定します。
高速側シャッタ速度が、本メニューで設定された値より高速にならないように制御されます。
※本設定は、「SSHT SEL」設定が「AUTO」の時のみ有効です。

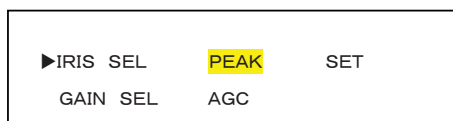
スイッチ説明

UP : ボタン押下毎に「1/1500」→「1/2000」→「1/2500」→「1/3000」→「1/4000」→「1/5000」→「1/6000」→「1/8000」→「1/12000」→「1/16000」と遷移します。
DOWN : ボタン押下毎に「1/16000」→「1/12000」→「1/8000」→「1/6000」→「1/5000」→「1/4000」→「1/3000」→「1/2500」→「1/2000」→「1/1500」と遷移します。
MODE : 設定値を記憶して「SFV SET」メニューに戻ります。→35ページへ

注) 高速側シャッタ速度の最大速度を高速に設定すると、逆光が強くなった場合に低速側シャッタ映像と高速側シャッタ映像の合成部にノイズが発生する場合があります

「PEAK」メニュー（ピーク測光モードの設定）

「IRIS SEL」メニューで「PEAK」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



ピーク測光の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP/DOWN : 反転表示を「PEAK」→「SET」→「PEAK」…と遷移します。

MODE : 「PEAK」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→29ページへ
「SET」反転時、「PEAK SET」メニューに遷移します。→38ページへ

「PEAK SET」メニュー（ピーク測光モード詳細設定の選択）

「PEAK」メニューで「SET」を選択したとき、下記画面が表示されます。



各項目にてピーク測光の設定をします。

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→29ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

BRIGHT REV : 38ページ

DARK REV : 38ページ

「BRIGHT REV」メニュー（ピーク測光モード 高輝度出力レベルの設定）

「PEAK SET」メニューで「BRIGHT REV」を選択します。

ピーク測光の効果を設定します。

H方向で部分的に明るい所がより暗く(ピーク測光の効果が強く)なるように制御します。

スイッチ説明

UP :H方向に↓が移動します。

DOWN :L方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶して「PEAK SET」メニューに戻ります。→38ページ

注)本設定をH方向に大きく設定した場合、アイリス動作がハンチングを起こす場合があります。

「DARK REV」メニュー（ピーク測光モード 暗部出力レベル補正の設定）

「PEAK SET」メニューで「DARK REV」を選択します。

ピーク測光時の暗い所の映像補正量を設定します。

ピーク測光時は部分的に明るい所を見えるように制御するため、暗い部分は逆に見づらくなります。このため、部分的に明るい被写体を撮影していると判断したときに、暗い部分の映像を持ち上げる補正処理を入れています。H方向で暗い所の映像がより明るくなるように補正をかけます。

スイッチ説明

UP :H方向に↓が移動します。

DOWN :L方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶して「PEAK SET」メニューに戻ります。→38ページ

注)本設定をH方向に大きく設定した場合、暗い部分の映像にノイズが目立つ場合があります。

「GAIN SEL」メニュー（ゲインコントロールの選択）

「2.Y CONTROL」メニューで「GAIN SEL」を選択します。

ゲインの値を自動で変化させるか手動で調整するかを選択することができます。

[AGC] :明るさに応じてゲインの値が自動的に変化します。

[MGC] :ゲインの値を手動で調整します。

スイッチ説明

UP/DOWN :「AGC」の表示を、ボタン押下毎に「AGC」→「MGC」→「AGC」…と遷移します。

MODE :「MGC」表示時、設定を記憶し「MGC」メニューに遷移します。→38ページ
「AGC」表示時、設定を記憶し「AGC」メニューに遷移します。→38ページ

「MGC」メニュー（MGCの選択）

「GAIN SEL」メニューで「MGC」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

IRIS SEL	NORMAL	
▶GAIN SEL	MGC	SET
BW/COLOR	COLOR	

MGCの詳細設定を行いたい場合は、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP/DOWN :反転表示を「MGC」→「SET」→「MGC」…と遷移します。

MODE :「MGC」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→29ページへ
「SET」反転時、「MGC SET」メニューに遷移します。→38ページ

[高速シャッタについて]

■ 高速シャッタを使用する場合は下記の注意が必要です。

- (1) シャッタ速度が速くなるほど十分な光量を必要とします。(相対的な感度が低下します。)
- (2) 50Hz 電源地区における放電灯照明下でフリッカが気になる場合は、1/100sシャッタを選択することでもフリッカを抑圧できます。
注)MGC設定時はフリッカキャンセル機能をONにすることができませんので、1/100sシャッタを利用してください。
- (3) 50Hz 電源地区における放電灯照明下または高周波点灯照明下では 1/250s以上の高速シャッタは激しいフリッカを発生しますのでご注意ください。
- (4) 高輝度被写体に対して露出調節のために超高速シャッタで長期間使用することはお避けください。CCD のカラーフィルタの退色により色再現性が劣化する場合があります。
- (5) 60Hz 電源地区における放電灯照明下で高速シャッタを使用しますとゆっくりとした光量変化を生じます。このため画面に周期的な S/N の変動および色の変化が発生しますのでご注意ください。

[手動電子増感機能について]

- 電子増感機能とは、マイコンによる 1/60s以上の低速シャッタ制御およびデジタルメモリを用いた信号補間処理を行うことで感度アップを行う機能です。
- CIT-8100VFでは、標準時(シャッタスピード 1/60s)に対して×1倍から×16倍まで手動で感度アップを行うことができます。

電子増感動作時は下記の注意が必要です。

- (1) 動きのある被写体は、感度がアップするほどぶれを生じます。
- (2) 増感動作時、レンズ絞りは開放に固定されますので、アイリス調整は出来ません。太陽の光は見ないでください。撮像素子が焼きつくことがあります。
- (3) 増感倍率が高いときにはノイズが目立つ場合があります。また、周囲温度が高く、増感倍率×16倍以上のときには、CCDの固定パターンノイズ(画面の一定位置に点として見えるノイズ)が目立つ場合があります。
- (4) 手動電子増感設定などで画面を明るくしすぎた場合、コントローラの電源をON/OFFすると同期がかかりにくくなる場合があります。

「MGC LEVEL」メニュー (MGC レベルの設定)

「MGC SET」メニューで「MGC LEVEL」を選択します。

ゲインの設定を行うことができます。H側でゲインが大きく、L側でゲインが小さくなります。

注)ゲインを大きく設定すると、被写体によっては画像がハンチングを起こす場合があります。
ゲインを小さく設定すると、暗い時に映像が見づらい場合があります。

スイッチ説明

UP :H方向に↓が移動します。

DOWN :L方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶して「MGC SET」メニューへ遷移します。→38ページへ

「IRIS LEVEL」メニュー (アイリスの設定)

「MGC SET」メニューで「IRIS LEVEL」を選択します。

画面の明るさを調整することができます。

H方向で画面が明るくなり、L方向画面が暗くなります。

注)IRIS LEVEL 設定がLかHに極端に片寄ると、被写体によってはアイリスが開かなかったり、画面がハンチングを起こす場合があります。また、急激に光量が変化したときには、アイリスが追従して映像が見えるまでに時間が掛かる場合があります。

スイッチ説明

UP :H方向に↓が移動します。

DOWN :L方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶して「MGC SET」メニューへ遷移します。→38ページへ

「DNR」メニュー（MGC 時デジタルノイズリダクションの選択）

「MGC SET」メニューで「DNR」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```

M G C   S E T

S H U T T E R           1 / 6 0
M G C   L E V E L       L <<<<<< ↓ >>>>>> H
I R I S   L E V E L     L <<<<<< ↓ >>>>>> H
▶ D N R
E X I T
```

通常は AUTO 1 で使用してください。使用詳細は下記の[デジタルノイズリダクションについて]を参照し、最適の状態を設定してください。

スイッチ説明

- UP : 「AUTO 1」の表示を、ボタン押下毎に「AUTO 1」→「AUTO 2」→「LOW」→「MIDDLE」→「HIGH」→「OFF」→「AUTO 1」…と遷移します。
- DOWN : 「AUTO 1」の表示を、ボタン押下毎に「AUTO 1」→「OFF」→「HIGH」→「MIDDLE」→「LOW」→「AUTO 2」→「AUTO 1」…と遷移します。
- MODE : 設定を記憶して「MGC SET」メニューに戻ります。→38ページへ

[デジタルノイズリダクションについて]

- カメラ映像ノイズには固定パターンノイズとランダムノイズがあります。デジタルノイズリダクション（以下DNR）はゲインアップをおこなった際に生じるランダムノイズの低減を行います。レベルは LOW→MIDDLE→HIGH の順でランダムノイズの低減レベルが上がって行きます。
- DNR動作時は次の注意が必要です。
低減レベルを上げるほど（HIGHにするほど）、垂直解像度が若干悪くなります。
また、動きのある被写体は低減レベルを上げるほど（HIGHにするほど）、映像はぶれを生じます。
- 「AUTO1」は動きのある被写体に対して映像ぶれが生じにくくなっていますが、DNRの効果がうすい場合があります。「AUTO2」は動きのある被写体に対して映像がぶれやすくなっていますが、DNRの効果は大きくなります。

「AGC」メニュー（AGC の選択）

「GAIN SEL」メニューで「AGC」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転し、右側に「SET」が表示されます。

IRIS SEL	NORMAL	
▶GAIN SEL	AGC	SET
BW/COLOR	COLOR	

AGCの詳細設定を行いたい場合は、「SET」を選択します。

スイッチ説明

- UP/DOWN : 反転表示を「AGC」→「SET」→「AGC」…と遷移します。
- MODE : 「AGC」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→29ページへ
「SET」反転時、「AGC SET」メニューに遷移します。→38ページへ

[自動電子増感機能について]

- 電子増感機能とは、マイコンによる 1/60 秒以上の低速シャッタ制御およびデジタルメモリを用いた信号補間処理を行うことで感度アップを行う機能です。
- CIT-8100VF では、下記の特徴があります。

(1) 自動電子増感機能

標準時(シャッタスピード 1/60 秒)に対して×1 倍から×16 倍まで自動で感度アップを行うことができます。

(2) 自動電子増感最大倍率の設定機能

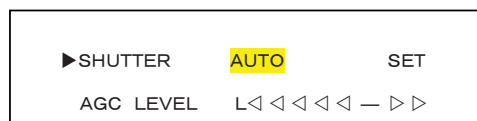
自動電子増感の最大倍率を 1 倍から 16 倍まで任意に設定できますので、設置状況に応じて感度アップの範囲を設定することができます。

電子増感動作時は下記の注意が必要です。

- (1) 動きのある被写体は、感度がアップするほどぶれを生じます。
- (2) 自動電子増感時は、MGC 設定になっていても自動的に AGC モードとなります。手動増感時は AGC/MGC の設定は無効です。
- (3) 自動電子増感設定時に、暗い場所を撮影して電子増感倍率が高くなっている状態から急に明るい場所を撮影すると、しばらくの間映像が真っ白になる場合があります。
- (4) カメラ電源立ち上げ後、自動電子増感倍率は増感倍率×1からスタートします。
- (5) 増感動作時、レンズ絞りは開放に固定されますので、アイリス調整は出来ません。太陽の光は見ないでください。撮像素子が焼きつくことがあります。
- (6) 増感倍率が高いときにはノイズが目立つ場合があります。また、周囲温度が高く、増感倍率×16倍以上のときには、CCDの固定パターンノイズ(画面の一定位置に点として見えるノイズ)が目立つ場合があります。

[「AUTO」メニュー (自動電子シャッタの設定)]

「SHUTTER」メニューで「AUTO」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



自動電子増感の詳細設定を行う場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP/DOWN : 反転表示を「AUTO」→「SET」→「AUTO」→…と遷移します。

MODE : 「AUTO」反転時、「AGC SET」メニューに戻ります。→38ページへ

「SET」反転時、「AUTO SET」メニューに遷移します。→38ページへ

[「AUTO SET」メニュー (自動電子シャッタ詳細設定の選択)]

「AUTO」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。



UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「AGC SET」メニューに戻ります。→48 ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

MAX GAIN	:38ページ
×1 SHUTTER	:38ページ
×1→SLOW	:38ページ

「MAX GAIN」メニュー（電子増感最大倍率の設定）

「AUTO SET」メニューで「MAX GAIN」を選択します。

最大電子増感倍率の設定を行います。×2のときは電子増感が最大2倍まで、×16のときは電子増感が最大16倍まで動作します。

スイッチ説明

UP : 「×16」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。
「×1」→「×2」→「×4」→「×6」→「×8」→「×10」→「×12」→「×14」→「×16」

DOWN : 「×16」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。
「×16」→「×14」→「×12」→「×10」→「×8」→「×6」→「×4」→「×2」→「×1」

MODE : 設定値を記憶して「AUTO SET」メニューに戻ります。→38ページへ

「×1 SHUTTER」メニュー（電子増感1倍時シャッタ速度の設定）

「AUTO SET」メニューで「×1 SHUTTER」を選択します。

自動電子増感選択時の、電子増感倍率1倍のときのシャッタ速度の選択を行います。50Hz 地区において放電灯下でFLICKER設定をONにしてもフリッカが目立つ場合、FLICKER設定をOFFにして×1SHUTTER設定を1/100にしてください。

注)FLICKER設定がONの場合、×1SHUTTER設定は「1/60」固定となります。
(IRIS SELでSFVが選択されているときは「1/100」固定となります。)

スイッチ説明

UP/DOWN : 「1/60」の表示を、ボタン押下毎に…→「1/100」→「1/60」→…と遷移します。

MODE : 設定値を記憶して「AUTO SET」メニューに戻ります。→38ページへ

「×1→SLOW」メニュー（電子増感切換レベルの設定）

「AUTO SET」メニューで「×1→SLOW」を選択します。

電子増感に入る条件を設定することができます。H方向で電子増感に入りにくくなり、L方向で電子増感に入りやすくなります。電子増感とは動く被写体に対してぶれを生じますが、S/N、感度は改善されます。自動電子増感を動き重視で行いたい場合はH側、S/N重視で行いたい場合はL側に設定してください。

スイッチ説明

UP : H方向に↓が移動します。

DOWN : L方向に↓が移動します。

MODE : 設定を記憶して「AUTO SET」メニューに戻ります。→38ページ

「AGC LEVEL」メニュー（AGCレベルの設定）

「AGC SET」メニューで「AGC LEVEL」を選択します。

画面の明るさを調整することができます。
H方向で画面が明るくなり、L方向画面が暗くなります。

注)AGC LEVELがLかHに極端に片寄ると、被写体によってはアイリスが開かなかったり、画面がハンチングを起こす場合があります。また、急激に光量に変化したときには、アイリスが追従して映像が見えるまでに時間が掛かる場合があります。

スイッチ説明

UP : H方向に↓が移動します。

DOWN : L方向に↓が移動します。

MODE : 設定を記憶して「AGC SET」メニューへ遷移します。→38ページへ

「MAX AGC」メニュー（AGC 最大ゲインレベルの設定）

「AGC SET」メニューで「MAX AGC」を選択します。

最大ゲインレベルの設定を行います。H側で最大ゲインレベルが上がり、L側で最大ゲインレベルが下がります。最大ゲインレベルが高い場合は画面が明るくなりますが、ノイズが増えます。

スイッチ説明

UP :H方向に↓が移動します。
DOWN :L方向に↓が移動します。
MODE :設定値を記憶して「AGC SET」メニューへ遷移します。→38ページへ

「AGC BOOST」メニュー（ゲインレベルアップの選択）

「AGC SET」メニューで「AGC BOOST」を選択します。

低照度時、最大ゲインをさらに2倍のぼすことができます。高感度の必要な場合は+6DBで使用してください。

注)AGC BOOST を+6DBに設定すると、低照度時にノイズが目立つ場合があります。

スイッチ説明

UP/DOWN :「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「+6DB」→「OFF」→…と遷移します。
MODE :設定値を記憶して「AGC SET」メニューに戻ります。→38ページへ

「DNR」メニュー（AGC 時デジタルノイズリダクションの選択）

「AGC SET」メニューで「DNR」を選択すると、下記のように網掛け部分が反転します。

```
                A G C   S E T  
  
S H U T T E R           A U T O  
A G C   L E V E L       L <<<<<< ↓ >>>>>> H  
M A X   A G C           L <<<<<< - >>>>>> ↓ H  
A G C   B O O S T       O F F  
▶ D N R  
  
E X I T
```

デジタルノイズリダクションの設定を行います。

使用詳細は P.38の[デジタルノイズリダクションについて] の項を参照し、最適の状態を設定してください。「AUTO 1」は動きのある被写体に対して映像ぶれが生じにくくなりますが、DNRの効果はうすくなる場合があります。「AUTO 2」は動きのある被写体に対して映像がぶれやすくなりますが、DNRの効果は大きくなります。

スイッチ説明

UP :「AUTO1」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。
「AUTO1」→「AUTO2」→「LOW」→「MIDDLE」→「HIGH」→「OFF」→「AUTO1」→…
DOWN :「AUTO1」の表示を、ボタン押下毎に以下のとおり遷移します。
「AUTO1」→「OFF」→「HIGH」→「MIDDLE」→「LOW」→「AUTO2」→「AUTO1」→…
MODE :設定値を記憶して「AGC SET」メニューに戻ります。→38ページへ

「GRADATION」メニュー（映像信号の設定）

「2.Y CONTROL」メニューで「GRADATION」を選択します。

ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの設定を行います。

[NORMAL] :ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの設定固定

[USER] :ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの設定を可能とする

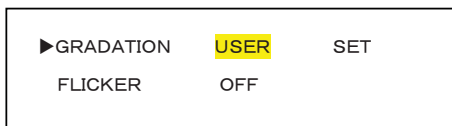
スイッチ説明

UP/DOWN :「NORMAL」の表示を、ボタン押下毎に…→「USER」→「NORMAL」→…と遷移します。

MODE :「NORMAL」表示時、設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→29ページへ
「USER」表示時、設定を記憶し「USER」メニューに遷移します。→38ページへ

「USER」メニュー（ユーザーによる映像信号設定の選択）

「GRADATION」メニューで「USER」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



ガンマ、ニー、ホワイトクリップ、セットアップの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP/DOWN :反転表示を「USER」→「SET」→「USER」→…と遷移します。

MODE :「USER」反転時、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→29ページへ
「SET」反転時、「USER SET」メニューに遷移します。→38ページへ

「USER SET」メニュー（ユーザーによる映像信号詳細設定の選択）

「USER」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

U S E R S E T

```
▶ G A M M A           L <<< ↓ ▷▷▷▷ H
  K N E E             L <<< — ▷▷▷ ↓ H
  W — C L I P        L < ↓ < — ▷▷▷▷ H
  S E T   U P        L <<< — ▷▷ ↓ ▷ H

E X I T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→29ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

GAMMA :38ページ
KNEE :38ページ
W-CLIP :38ページ
SET UP :38ページ

「GAMMA」メニュー（ガンマの設定）

「USER SET」メニューで「GAMMA」を選択します。

ガンマの設定を行います。

H方向に移動させると、画面全体が明るくなる方向に変化します（ガンマ補正が大きくなります）。

L方向に移動させると、画面全体が暗くなる方向に変化します（ガンマ補正が小さくなります）。

液晶モニターなど、暗部がつぶれやすい表示機をご使用の場合は、ガンマ補正を大きくすることで暗部が見やすくなります。

スイッチ説明

UP :H方向に↓が移動します。

DOWN :L方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。→38ページへ

「KNEE」メニュー（二一の設定）

「USER SET」メニューで「KNEE」を選択します。

二一の設定を行います。

H方向に移動させると、高輝度部の信号圧縮が強くなります（二一補正が大きくなります）。

L方向に移動させると、高輝度部の信号圧縮が弱くなります（二一補正が小さくなります）。

ホワイトクリップが小さく設定されている場合、二一補正を強くかけることで映像の白つぶれをおさえることが出来ます。ホワイトクリップが大きく設定されている場合、二一補正を弱くすることで高輝度部の階調をはっきり出すことができます。

スイッチ説明

UP :H方向に↓が移動します。

DOWN :L方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。→38ページへ

「W-CLIP」メニュー（ホワイトクリップの設定）

「USER SET」メニューで「W-CLIP」を選択します。

ホワイトクリップの設定を行います。

H方向に移動させると、ホワイトクリップの位置が大きく設定されます。

L方向に移動させると、ホワイトクリップの位置が小さく設定されます。

ホワイトクリップの位置を大きく設定することで、映像の白つぶれをおさえることができます。

スイッチ説明

UP :H方向に↓が移動します。

DOWN :L方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。→38ページへ

注)ホワイトクリップの位置を大きく設定すると、表示装置によっては白つぶれが逆にひどくなったり、場合によっては映像が乱れたり映像が映らなくなる恐れがあります。

「SET UP」メニュー（セットアップレベルの設定）

「USER SET」メニューで「SET UP」を選択します。

セットアップレベル（黒レベル）の設定を行います。

H方向に移動させると、黒が明るく表示されます。

L方向に移動させると、黒が暗く表示されます。

セットアップレベルを大きくすることで暗い部分の映像を明るく、小さくすることでくっきりとした黒を表示することができます。

スイッチ説明

UP :H方向に↓が移動します。

DOWN :L方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶して「USER SET」メニューに戻ります。→38ページへ

「FLICKER」メニュー（フリッカ補正機能の選択）

「2.Y CONTROL」メニューで「FLICKER」を選択します。

ON 選択で、画面全体のチラツキ(フリッカ)をなくします。詳しくは「フリッカについて」をご参照ください。

スイッチ説明

UP/DOWN : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「ON」→「OFF」→…と遷移します。

(MGC 時は「OFF」固定となります)

MODE : 設定を記憶し「2.Y CONTROL」メニューに戻ります。→29ページへ

[フリッカについて]

フリッカ(ちらつき)は蛍光灯のような放電灯照明下で発生します。自然光下や白熱照明下では発生しません。フリッカの現象は電源周波数とシャッタ速度により下記のように異なります。

◆ 60Hz 電源地区での場合

1. 1/60sシャッタ

電源周波数と CCD の電荷蓄積時間がほぼ一致しており、フリッカは発生しません。

2. 高速シャッタの場合

ゆっくりとした輝度変化が発生します。シャッタ速度が速くなるほど輝度変化の割合は大きくなります。

◆ 50Hz 電源地区での場合

1. 1/60sシャッタ

約 20Hz 周期のフリッカが発生します。FLICKER 設定を ON にすることで補正することができます。

2. 1/100sシャッタ

フリッカは発生しません。1/60sシャッタに比較して約半分に感度が低下しますので低照度時にはご注意ください。

3. 1/250s以上の高速シャッタ

かなり激しいフリッカが発生します。高速シャッタが必要な場合には自然光または白熱点灯照明をご使用ください。

「DETAIL」メニュー（画質の調整）

「2.Y CONTROL」メニューで「DETAIL」を選択します。

画質を調整することができます。

L 方向で画質がソフトになり、H 方向で画質がシャープになります。

スイッチ説明

UP : H方向に↓が移動します。

DOWN : L方向に↓が移動します。

MODE : 設定値を記憶して「2.Y CONTROL」メニューへ戻ります。→29ページへ

(3)「COLOR」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「3.COLOR」を選択したとき、下記の画面が表示されます。

```
                C O L O R

▶ W B   S E L           A U T O
  A W B   L O C K       O F F
  C   L E V E L         L ◀◀◀◀◀ ↓ ▶▶▶▶▶ H
  S U P P R E S S     L ◀◀◀◀◀ ↓ ▶▶▶▶▶ H

E X I T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。（「WB SEL」メニューで「MANU」を選択している場合、「AWB LOCK」はパスされます。）

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

WB SEL	:38ページ
AWB LOCK	:38ページ
C LEVEL	:38ページ
SUPPRESS	:38ページ

「WB SEL」メニュー（ホワイトバランスモードの選択）

「3.COLOR」メニューで「WB SEL」を選択します。

[AUTO] :自動的にホワイトバランスを合わせます。

[MANU] :手動でホワイトバランスを調整します。

スイッチ説明

UP/DOWN :「AUTO」の表示を、ボタン押下毎に「AUTO」→「MANU」→「AUTO」→…と遷移します。

MODE :「AUTO」表示時、設定を記憶し「AUTO」メニューに遷移します。→38ページへ
「MANU」表示時、設定を記憶し「MANU」メニューに遷移します。→38ページへ

「AUTO」メニュー（オートホワイトバランス設定の選択）

「WB SEL」メニューで「AUTO」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。

```
▶ WB SEL   AUTO   SET
  AWB LOCK  OFF
```

オートホワイトバランスの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP/DOWN :反転表示を「AUTO」→「SET」→「AUTO」→…と遷移します。

MODE :「AUTO」反転時、「3.COLOR」メニューに戻ります。→38ページへ
「SET」反転時、「AUTO WB SET」メニューに遷移します。→38ページへ

「AWB AREA」メニュー（スポット AWB の選択）

「AUTO WB SET」メニューで「AWB AREA」を選択します。

AWBの測光枠を設定します。

[NORMAL] :画面全エリアの色情報をもとにAWBが動作します。

[SPOT] :次メニューで設定した測光枠内の色情報をもとにAWBが動作します。
あらかじめ白色と分かっている部分にAWB測光枠を合わせることで、
より高精度なAWB動作を行うことができます。

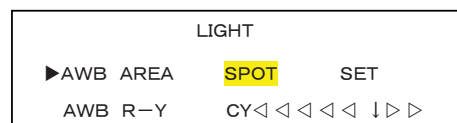
スイッチ説明

UP/DOWN :「NORMAL」の表示を、ボタン押下毎に…→「SPOT」→「NORMAL」→…と遷移します。

MODE :「NORMAL」表示時、設定を記憶し「AUTO WB SET」メニューに戻ります。→38ページへ
「SPOT」表示時、設定を記憶し「SPOT」メニューに遷移します。→38ページへ

「SPOT」メニュー（スポット AWB の設定）

「AUTO WB SET」メニューで「SPOT」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



AWB測光枠の設定を変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP/DOWN :反転表示を「SPOT」→「SET」→「SPOT」→…と遷移します。

MODE :「SPOT」反転時、「AUTO WB SET」メニューに戻ります。→38ページへ
「SET」反転時、「WINDOW」メニューに遷移します。→38ページへ

注)AWB測光枠の大きさを小さすぎる設定した場合、AWB動作が不安定になって色が定まらなくなる場合があります。

「WINDOW」メニュー（スポット AWB 枠のサイズ、位置設定）

「SPOT」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示され、画面上に測光枠が明るく表示されます。

```
W I N D O W  
  
▶ W I D T H   H   * *  
  W I D T H   V   * *  
  
L O C A T E   H   * *  
L O C A T E   V   * *  
  
E X I T
```

各項目にて測光枠のサイズ、位置を設定します。

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「AUTO WB SET」メニューに戻ります。→38ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

WIDTH H :38ページ

WIDTH V :38ページ

LOCATE H :38ページ

LOCATE V :38ページ

「WIDTH H」メニュー（水平方向のスポット AWB 枠サイズ設定）

水平方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

UP :WIDTH Hの**が1→15まで変化します。

DOWN :WIDTH Hの**が15→1まで変化します。

MODE :設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→38ページへ

「WIDTH V」メニュー（垂直方向のスポット AWB 枠サイズ設定）

垂直方向の測光枠のサイズを設定します。設定値の増減により、測光枠のサイズが変化します。

スイッチ説明

UP :WIDTH Vの**を1→15まで変化します。

DOWN :WIDTH Vの**を15→1まで変化します。

MODE :設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→38ページへ

「LOCATE H」メニュー（水平方向のスポット AWB 枠位置設定）

水平方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

UP :LOCATE Hの**を1→15まで変化します。

DOWN :LOCATE Hの**を15→1まで変化します。

MODE :設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→38ページへ

「LOCATE V」メニュー（垂直方向のスポット AWB 枠位置設定）

垂直方向の測光枠の位置を設定します。設定値の増減により、測光枠の位置が変化します。

スイッチ説明

UP :LOCATE Vの**を1→15まで変化します。

DOWN :LOCATE Vの**を15→1まで変化します。

MODE :設定値を記憶して「WINDOW」メニューに戻ります。→38ページへ

「AWB R-Y」メニュー（赤、シアン方向のオートホワイトバランス微補正）

「AUTO WB SET」メニューで「AWB R-Y」を選択します。

R方向で画面が赤に、CY方向で画面がシアンに色調が変わります。

スイッチ説明

UP :R方向に↓が移動します。

DOWN :CY方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→38ページへ

「AWB B-Y」メニュー（青、黄方向のオートホワイトバランス微補正）

「AUTO WB SET」メニューで「AWB B-Y」を選択します。

B方向で画面が青く、Y方向で画面が黄色に色調が変わります。

スイッチ説明

UP :B方向に↓が移動します。

DOWN :Y方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→38ページへ

「HUE R-Y」メニュー（赤、シアン方向の色相の設定）

「AUTO WB SET」メニューで「HUE R-Y」を選択します。

MG方向で赤色がマゼンダに、青色が緑色に、色合いが変わります。
YB方向で赤色が黄色に、シアンが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明

UP : MG方向に↓が移動します。
DOWN : YB方向に↓が移動します。
MODE : 設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→38ページへ

「HUE B-Y」メニュー（青、黄方向の色相の設定）

「AUTO WB SET」メニューで「HUE B-Y」を選択します。

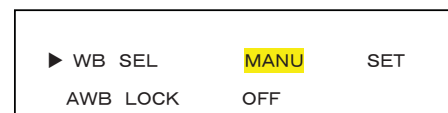
GM方向で黄色が緑色に、青色がマゼンダに、色合いが変わります。
YB方向で緑色が黄色に、マゼンダが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明

UP : GM方向に↓が移動します。
DOWN : YB方向に↓が移動します。
MODE : 設定を記憶して「AUTO WB SET」メニューへ遷移します。→38ページへ

「MANU」メニュー（マニュアルホワイトバランス設定の選択）

「WB SEL」メニューで「MANU」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。



マニュアルホワイトバランスの詳細を設定する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP/↓DOWN : 反転表示が「MANU」→「SET」→「MANU」→…と遷移します。
MODE : 「MANU」反転時、「3.COLOR」メニューに戻ります。→38ページへ
「SET」反転時、「MANU WB SET」メニューに遷移します。→38ページへ

「MANU WB SET」メニュー（マニュアルホワイトバランス詳細設定項目の選択）

「MANU」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```
      M A N U   W B   S E T

▶ M W B   R - Y           B ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ R
  M W B   B - Y           M ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ G
  H U E   R - Y           Y B ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ M G
  H U E   B - Y           Y B ◀ ◀ ◀ ◀ ◀ ↓ ▷ ▷ ▷ ▷ ▷ G M

      E X I T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「3.COLOR」メニューに戻ります。→38ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

MWB R-Y	:38ページ
MWB B-Y	:38ページ
HUE R-Y	:38ページ
HUE B-Y	:38ページ

「MWB R-Y」メニュー（赤、青方向のマニュアルホワイトバランス設定）

「MANU WB SET」メニューで「MWB R-Y」を選択します。

R方向で画面が赤く、B方向で画面が青く色調が変わります。

スイッチ説明

UP :R方向に↓が移動します。

DOWN :B方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→38ページへ

「MWB B-Y」メニュー（グリーン、マゼンダ方向のマニュアルホワイトバランス設定）

「MANU WB SET」メニューで「MWB B-Y」を選択します。

G方向で画面がグリーンに、M方向で画面がマゼンダに色調が変わります。

スイッチ説明

UP :G方向に↓が移動します。

DOWN :M方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→38ページへ

「HUE R-Y」メニュー（赤、シアン方向の色相の設定）

「MANU WB SET」メニューで「HUE R-Y」を選択します。

MG方向で赤色がマゼンダに、青色が緑色に、色合いが変わります。
YB方向で赤色が黄色に、シアンが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明

UP : MG方向に↓が移動します。
DOWN : YB方向に↓が移動します。
MODE : 設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→38ページへ

「HUE B-Y」メニュー（青、黄方向の色相の設定）

「MANU WB SET」メニューで「HUE B-Y」を選択します。

GM方向で黄色が緑色に、青色がマゼンダに、色合いが変わります。
YB方向で緑色が黄色に、マゼンダが青色に、色合いが変わります。

スイッチ説明

UP : GM方向に↓が移動します。
DOWN : YB方向に↓が移動します。
MODE : 設定を記憶して「MANU WB SET」メニューへ遷移します。→38ページへ

「AWB LOCK」メニュー（ホワイトバランスロックの選択）

「3.COLOR」メニューで「AWB LOCK」を選択します。

ON選択で、現在のホワイトバランスの状態を固定します。詳しくはホワイトバランスについてをご参照ください。

注)「WB SEL」メニューで「MANU」を選択すると、本メニューはパスされます。

スイッチ説明

UP/↓DOWN : 「OFF」の表示を、ボタン押下毎に「OFF」→「ON」→「OFF」→…と遷移します。
MODE : 設定を記憶し「3.COLOR」メニューに戻ります。→38ページへ

【ホワイトバランスについて】

■ ホワイトバランス（色調節）は下記の動作モードが選択できます。

[AUTO] : 連続自動追従調節（標準モード）
[LOCK] : 自動調節後、固定
[MANU] : 手動調節

- [AUTO]は自然光のように照明条件（色温度）が時間的に変化するような時に、自動的に色バランスを追従調節します。自然光でなくとも通常の設置条件の場合は自動的に色バランスが得られますので、特に色調節を必要としません。
- オートホワイトバランスは被写体の色成分の平均値を常に監視し、平均値が白になるよう自動制御を行っています。従って単一色の被写体を画面一杯に映した場合、色が退色（うすくなる）場合があります。このような問題がある場合には画面全体に白被写体を映してオートホワイトバランスを得た後、[LOCK]を選択すると、以後は色パラメータが固定され、被写体の条件に左右されなくなります。この方法は照明条件が変化しない環境において最適な色調節と被写体に左右されないホワイトバランスが簡単に得られる方法です。
- [LOCK]よりも厳密なホワイトバランスを必要とする場合は、[MANU]によりベクトルスコープ等の測定器を使用してホワイトバランスを設定してください。この場合は照明条件が変動しないことが条件となります。照明条件が変わった場合は再設定が必要です。
- 特殊な光源（水銀灯など）の場合は色再現性が悪くなる場合があります。

「C LEVEL」メニュー（濃淡の設定）

「3.COLOR」メニューで「C LEVEL」を選択します。

色の濃さを設定することができます。

H方向で色が濃く、L方向で色が薄くなります。

スイッチ説明

UP :H方向に↓が移動します。

DOWN :L方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶し「3.COLOR」メニューに戻ります。→38ページへ

「SUPPRESS」メニュー（クロマサプレスの設定）

「3.COLOR」メニューで「SUPPRESS」を選択します。

暗い場所を撮影してカメラの感度が上がった時、色ノイズを低減するため色を自動的に薄くする処理を入れています。H方向で色を薄くする効果が強く、L方向で色を薄くする効果が弱くなります。

スイッチ説明

UP :H方向に↓が移動します。

DOWN :L方向に↓が移動します。

MODE :設定を記憶し「3.COLOR」メニューに戻ります。→38ページへ

(4)「SCENE FIT」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「4.SCENE FIT」を選択すると、下記の画面が表示されます。

S C E N E F I T

▶ デイリグチ	USER 1
パーキング	USER 2
エキ ホーム	USER 3
ロウカ	ATM
EXIT	

本機能は、撮影場所に応じて各メニュー調整値を最適になるよう記憶しておく機能です。あらかじめ用意されているメニューの設定内容5パターン(下記参照)と、さらにユーザが任意に設定した内容を3パターン記憶でき、計8パターンの設定内容から任意の内容を選択することが可能です。現在の設定シーンの左隣に「▶」マークが表示されます。「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」、「ATM」は選択後、各設定メニューで変更することもできます(変更された内容は自動的に記憶されます)。また、初期的に「USER1」～「USER3」は、工場出荷時設定が登録されています。「USER1」～「USER3」のいずれかを選択後、各設定メニューで変更すると、その設定値が自動的に記憶されます。変更した内容は、電源を切っても消去されません。設定内容を初期化したい場合は、「INITIAL」メニュー(P.28)で行ってください。「USER1」～「USER3」の表示は、設定によって任意の文字列を12文字まで登録可能です。「USER1」～「USER3」メニューで「ID」を選択後、「ID SET」項目でIDを設定してください。

下記のパターンは、それぞれの場所への設置に適しています。

- ・デイリグチ :建物の出入口のように、出入者が逆光の影響で黒つぶれを起こしてしまうような場所
- ・パーキング :駐車場のように、夜間撮影時に動きのある被写体を撮影したい場所
- ・エキ ホーム :駅のホームのように、明暗がはっきり分かれているような場所
- ・ロウカ :廊下のように、蛍光灯照明で奥行きがあり、遠くが暗くなっているような場所
- ・ATM :ATMのように、逆光で顔が暗くなってしまうような場所

スイッチ説明

UP :文字の反転表示は以下のように遷移します。

…「デイリグチ」→「パーキング」→「エキ ホーム」→「ロウカ」→「EXIT」→「USER1」→「USER2」→「USER3」→「ATM」→「EXIT」→「デイリグチ」→…

DOWN :文字の反転表示は以下のように遷移します。

…→「EXIT」→「ATM」→「USER3」→「USER2」→「USER1」→「EXIT」→「ロウカ」→「エキ ホーム」→「パーキング」→「デイリグチ」→「EXIT」→…

「ID SET」メニュー（ユーザー登録シーンの ID 設定）

「USER *」メニューで「ID」を選択すると、下記の画面が表示されます。



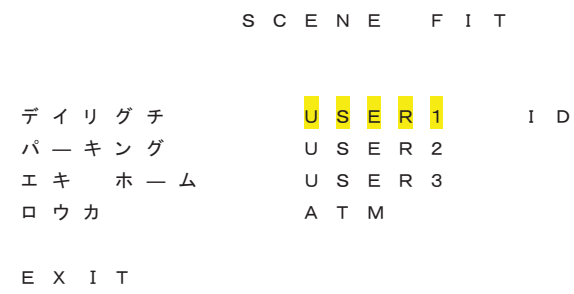
* * * * * * * * * * * * * 部に設定した文字列 (ID) の変更を行います (最大 12 文字)。

- スイッチ説明
- UP : 反転文字が右へ遷移します。右端の場合は、左端へ遷移します。
 - DOWN : 反転文字が下へ遷移します。下端の場合は、「終」に遷移します。
「終」の場合は、上端へ遷移します。
 - MODE : 選択文字が「<」の場合は、ID 表示の反転部が 1 つ左へ遷移します。
: 選択文字が「>」の場合は、ID 表示の反転部が 1 つ右へ遷移します。
: 選択文字が「消」の場合は、ID 表示の文字を全て空欄にします (オールクリア)。
: 選択文字が「終」の場合は、「USER *」メニューに戻ります。→ 38 ページへ
(「USER *」の位置に登録した ID が表示されます。)
: 選択文字が上記以外の場合は、選択している文字を ID 表示の反転部に表示し、
ID 表示の反転部が 1 つ右に遷移します。

MODE : 「EXIT」反転表示の場合、メニュー画面を終了します。
 文字の反転表示が「デイリグチ」、「パーキング」、「エキ ホーム」、「ロウカ」のとき、左隣に「▶」マークがない場合、登録されている各設定シーンを読み込んで「▶」マークを表示します (それまで表示されていた「▶」マークは消灯します)。
 左側に「▶」マークがある場合、反転表示を「EXIT」に遷移します。
 文字の反転表示が「USER1」～「USER3」のとき、左隣に「▶」マークがない場合、設定値を記憶して (登録されている設定内容を読み込んで) 「▶」マークを表示します。(それまで表示されていた「▶」マークは消灯します)。左隣に「▶」マークがある場合、以下の「USER *」メニューに遷移します。
 (「*」: 1～3の数字)

「USER *」メニュー（ユーザー登録シーンの設定と ID 表示の選択）

「4.SCENE FIT」メニューで「USER *」を選択すると、下記のように右側に「ID」が表示されます。
 ID の表示内容を変更したい場合、「ID」を選択します。尚、「ID SET」項目に登録した ID が「USER*」の位置へ表示されます。



- スイッチ説明
- UP / DOWN : 反転表示を「USER*」→「ID」→「USER*」→…と遷移します。
 - MODE : 「USER*」反転時、現在の設定文字列を記憶して (登録されている設定内容を読み込んで) 文字反転表示を「EXIT」に遷移します。(このとき「ID」の表示は消えます)
 「ID」反転時、「ID SET」項目に遷移します。(「*」: 1～3の数字)→ 38 ページへ

(5)「MASKING」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「5.MASKING」を選択すると、下記の画面が表示されます。

```

M A S K I N G

▶ M 1      O F F
  M 2      O F F
  M 3      O F F

E X I T
```

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、メニュー画面を終了します。UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

M1,M2,M3 : 38ページ

「M1」「M2」「M3」メニュー（マスキング表示／非表示の選択）

「5.MASKING」メニューで「M1」「M2」「M3」を選択します。

マスキング表示の ON/OFF 設定を行います。

3箇所のマスキング表示(M1,M2,M3)をそれぞれ独立して設定可能です。

[OFF] : マスキングの表示を行いません。

[ON] : マスキングの表示を行います。

スイッチ説明

UP/DOWN : 「OFF」の表示が、ボタン押下毎に…→「ON」→「OFF」→「ON」→…と遷移します。

MODE : 「OFF」表示時、設定を記憶し「5.MASKING」メニューに戻ります。→38ページへ
「ON」反転時、「ON」メニューに遷移します。→38ページへ

※マスキングは M1,M2,M3 ともに同じグレー表示であることから、複数表示のときに現在設定されているマスキングを判別するため、本メニューで ON の時は該当マスキングの点滅表示を行います。
(1秒毎に表示／非表示を繰り返す)

「ON」メニュー（マスキングの ON/OFF 設定）

「M1」「M2」「M3」メニューで「ON」を選択すると、右側に「SET」が表示されます。
(下記は M1 を ON にした場合の表示)

| | | |
|-----|-----|-----|
| ▶M1 | ON | SET |
| M2 | OFF | |

マスキングの位置、サイズを変更する場合、「SET」を選択します。

スイッチ説明

UP/DOWN : 反転表示を「ON」→「SET」→「ON」…と遷移します。

MODE : 「ON」反転時、「5.MASKING」メニューに戻ります。→38ページへ
「SET」反転時、「M* WINDOW」メニュー(*は 1～3 の数字)に遷移します。

→38ページへ

※マスキングは M1,M2,M3 ともに同じグレー表示であることから、複数表示のときに現在設定されているマスキングを判別するため、本メニューで ON の時は該当マスキングの点滅表示を行います。
(1秒毎に表示／非表示を繰り返す)

「M* WINDOW」メニュー（マスクングのサイズ、位置設定）

「ON」メニューで「SET」を選択すると、下記の画面が表示されます（*は1～3の数字）。

```
      M *   W I N D O W

▶ W I D T H   H       * *
  W I D T H   V       * *

L O C A T E   H       * *
L O C A T E   V       * *

E X I T
```

各項目にて M1,M2,M3 の各マスクングの位置、サイズを設定します。詳しくは、「マスクング機能について(P.38)」をご参照ください。

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが上下に動きます。設定したい項目の左隣に「▶」マークを移動して、MODEボタンを押してください。選択した項目の設定を行うことができます。

※選択された項目は反転表示されます。

※「▶」マークは設定項目の両端を超えると「▶」マークが消えて「EXIT」の文字が反転表示されます。この状態でモードボタンを押すと、「5.MASKING」メニューに戻ります。→38ページへ

UP、DOWNボタンを押すと、「▶」マークが再び現れて、設定したい項目を選択する画面に戻ることができます。

※各設定項目は、以下のページに詳細が書かれています。

| | |
|----------|--------|
| WIDTH H | :38ページ |
| WIDTH V | :38ページ |
| LOCATE H | :38ページ |
| LOCATE V | :38ページ |

「WIDTH H」メニュー（水平方向のマスクングサイズ設定）

水平方向のマスクングのサイズを設定します。設定値の増減により、マスクングのサイズが変化します。

スイッチ説明

UP :WIDTH Hの* *が1→40まで変化します。

DOWN :WIDTH Hの* *が40→1まで変化します。

MODE :設定値を記憶して「M* WINDOW」メニューに戻ります。→38ページへ

「WIDTH V」メニュー（垂直方向のマスクングサイズ設定）

垂直方向のマスクングのサイズを設定します。設定値の増減により、マスクングのサイズが変化します。

スイッチ説明

UP :WIDTH Vの* *を1→30まで変化します。

DOWN :WIDTH Vの* *を30→1まで変化します。

MODE :設定値を記憶して「M* WINDOW」メニューに戻ります。→38ページへ

「LOCATE H」メニュー（水平方向のマスクング位置設定）

水平方向のマスクングの位置を設定します。設定値の増減により、マスクングの位置が変化します。

スイッチ説明

UP :LOCATE Hの* *を1→40まで変化します。

DOWN :LOCATE Hの* *を40→1まで変化します。

MODE :設定値を記憶して「M* WINDOW」メニューに戻ります。→38ページへ

「LOCATE V」メニュー（垂直方向のマスクング位置設定）

垂直方向のマスクングの位置を設定します。設定値の増減により、マスクングの位置が変化します。

スイッチ説明

UP :LOCATE Vの* *を1→30まで変化します。

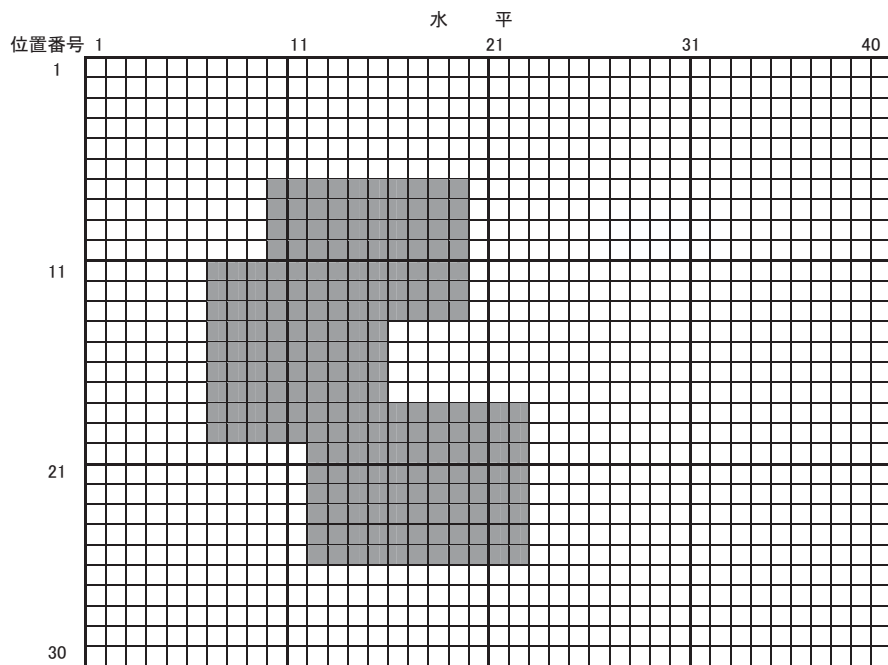
DOWN :LOCATE Vの* *を30→1まで変化します。

MODE :設定値を記憶して「M* WINDOW」メニューに戻ります。→38ページへ

[マスク機能について]

- マスキング機能とは、画面上で表示を隠したいエリアをグレー表示することで、画面のマスキングを行う機能です。監視画角にプライバシーや機密に関するものが映ってしまうような場合、本機能を使って画面をマスキングすることでプライバシーや機密を守ることができます。
- マスキング表示は、画面上の40(水平)×30(垂直)に分割した枠の中でエリアを設定することができます。設定メニュー「WIDTH」ではマスキングの右下角を移動して大きさを、「LOCATE」ではマスキングの左上角を移動して位置を設定します。
- マスキング表示は、最大3箇所まで表示することができます。それぞれのマスキングは独立して設定可能で、重ねて表示を行うことも可能です。1つのマスキング形状は四角ですが、重ねて表示することで様々な形を設定することができます。

マスキング設定例(画面上にはマスや位置番号は表示されません。)



設定エリア : (グレーで表示されます。)

- 例
- :M1 サイズ設定(水平、垂直) = (10, 7)
 - M1 位置設定(水平、垂直) = (10, 7)
 - M2 サイズ設定(水平、垂直) = (9, 9)
 - M2 位置設定(水平、垂直) = (7, 11)
 - M3 サイズ設定(水平、垂直) = (11, 8)
 - M3 位置設定(水平、垂直) = (12, 18)

(6)「SPECIAL」メニュー

「ADJ ITEM」メニューで「6.SPECIAL」を選択すると、下記の画面が表示されます。

P A S S W O R D

* * * *

N E X T R T N

パスワード「1192」を入力することで、アイリス速度の設定メニュー(MICREF)に入ることができます。アイリスの反応が遅い場合、アイリスがハンチングを起こす場合は、本メニューの設定で回避することができます。

パスワード入力スイッチ説明

- UP : 反転表示されている*を0→9まで変化します。9の場合は0に遷移します。
- DOWN : 反転表示されている*を9→0まで変化します。0の場合は9に遷移します。
- MODE : *の反転表示を1つ右隣に遷移します。*の反転表示が一番右隣の場合は、NEXTを反転表示してNEXT/RTN選択に遷移します。

NEXT/RTN 選択スイッチ説明

- UP/DOWN : 反転表示を「NEXT」→「RTN」→「NEXT」→…と遷移します。
- MODE : 「RTN」反転時、パスワード入力画面に戻ります。「NEXT」反転時、入力数字が「1192」であれば「MICREF」メニューに、それ以外であればメニューを終了します。

「PASSWORD」メニューでパスワード「1192」を入力して NEXT を選択すると、下記の画面が表示されます。

M I C S P E E D



アイリスの速度を設定することができます。設定値が大きいほどアイリスが速く、小さいほど遅く動作します。アイリスの反応が遅い場合は設定値を大きく、アイリスがハンチングを起こす場合は設定値を小さくすることで、アイリス動作を最適化することができます。

入カスイッチ説明

UP : 反転表示されている**を0→15まで変化します。

DOWN : 反転表示されている**を15→0まで変化します。

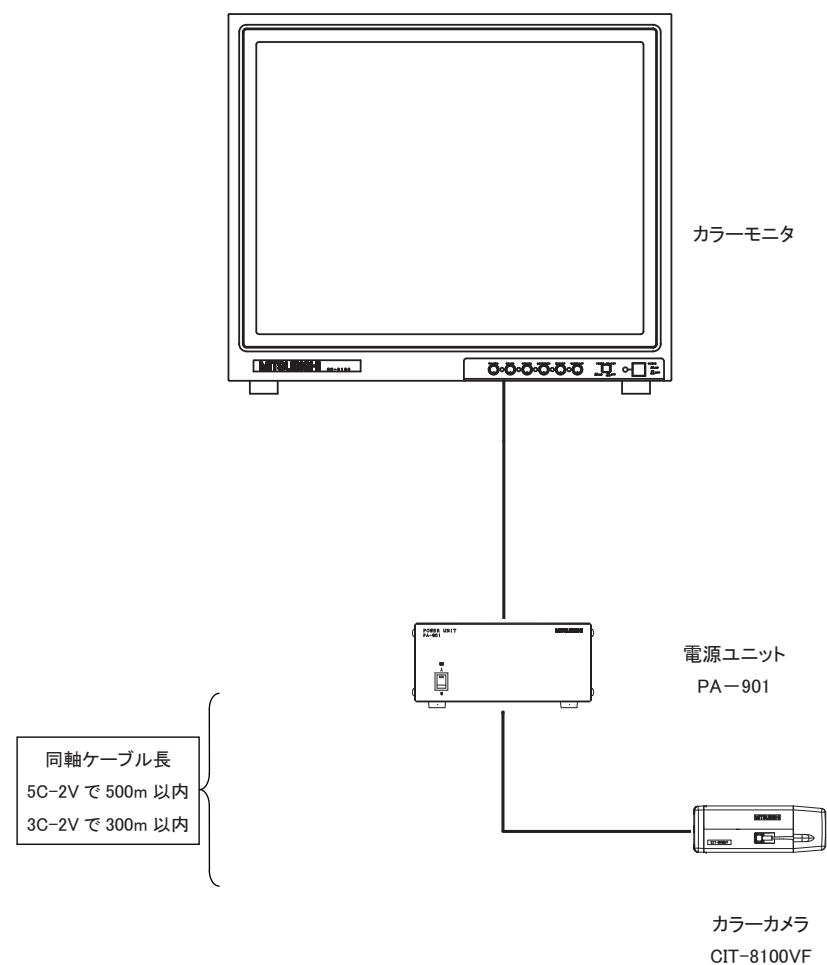
MODE : 設定値を記憶してメニュー画面を終了します

注) 本設定を大きい値に設定した場合、アイリスがハンチングを起こす場合があります。小さい値に設定した場合、アイリスが途中で停止する場合があります。

注) 本設定は、INITIAL 処理(P28)を行っても初期化されませんのでご注意ください。工場出荷設定は「4」です。

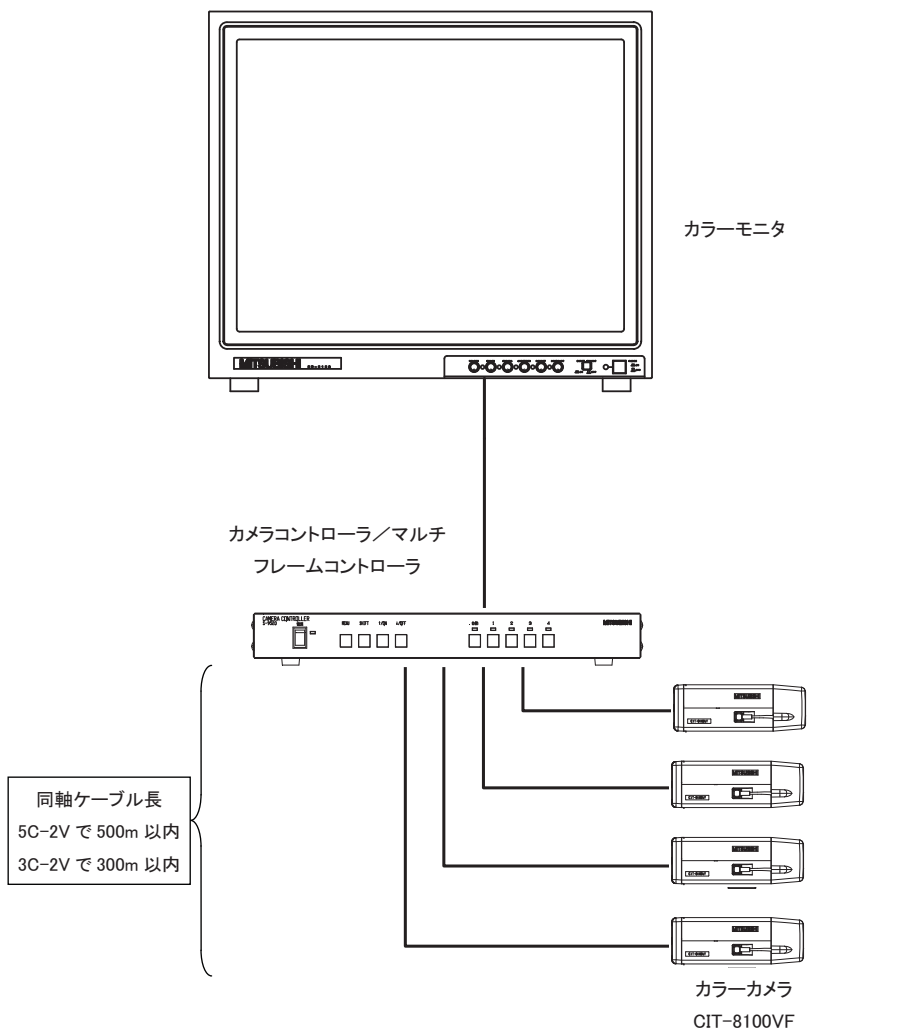
10. 接続のしかた

[カメラ1台を接続する場合]



- カメラと電源ユニット間は 5C-2V(3C-2V)で 500m(300m)以内で、接続してください。最大ケーブル長を超えて接続しますと、電源の供給等が行えなくなります。
- カメラと電源ユニット間には、他の機器を接続しないでください。

[カメラ4台を接続する場合]



- カメラとカメラコントローラなど(コントローラ、マルチフレームコントローラなど)の間は 5C-2V(3C-2V)で500m(300m)以内で、接続してください。最大ケーブル長を超えて接続しますと、電源の供給、同軸ワンラインを通じての制御等が行えなくなります。
- カメラとカメラコントローラなど(コントローラ、マルチフレームコントローラなど)の間には、他の機器を接続しないでください。通信ができなくなります。

11. オプション

(1)カメラコントローラ及び電源ユニット

| No. | 機種名/型名 | 最大カメラ接続台数 |
|-----|-------------------------|-----------|
| 1 | カメラコントローラ / S-9520SA | 4 |
| 2 | マルチフレームコントローラ / X-9620S | 4 |
| 3 | 電源ユニット / PA-901 | 1 |
| 4 | 電源ユニット / PA-908 | 8 |
| 5 | 電源ユニット / P-9043 | 4 |
| 6 | 電源ユニット / PA-904 | 4 |

(2)取付足

- 長尺タイプ(長さ 617~1004mm) : WH-LS1(トキナー製推奨)
- 中尺タイプ(長さ 305~465mm) : WH-11(トキナー製推奨)
- 短尺タイプ(長さ 130mm) : A-5624、WH-31(トキナー製推奨)

(3)カメラケースとカメラケース用オプション

| 機種名・型名 | 屋内型 | | 屋外型 | | |
|-----------------|--------------------------|--------|--------|-----------------|-----------------|
| | B-1100 | B-1130 | B-2100 | B-2120 | B-2130 |
| 取付台 | A-5614 | ○ | | | |
| | A-5615 | | ○ | | |
| | A-5611 | | | ○ | ○ |
| | A-5617 | | | △※1 | △※1 |
| オプション | デフロスタ K-1291 | | | ● | 標準装備 |
| | ヒータユニット K-1296 | | | ○ | ○ |
| | 吸出ファンユニット K-6200 | | | | |
| | 電源モジュール(DC24V) K-1624 | | | | |
| | 電源ユニット P-4390A | | | ○※2 | ○※2 |
| カメラ供給電源 | VP 多重 (カメラコントローラ相当品より供給) | | | | |
| カメラケース内機器への電源供給 | | | | DC24V (P-4390A) | DC24V (P-4390A) |

- : 各カメラケースに特別な条件がなくオプションとして取付可能
- △※1: この取付台は各カメラケースを据置き状態での固定のみ対応
- 部 : 各カメラケースに●のオプションを装着する際、必ず※2の電源が必要

12. フリッカ補正機能について

フリッカ(ちらつき)は蛍光灯のような放電灯照明下で発生します。自然光下や白熱照明下では発生しません。フリッカの現象は電源周波数とシャッター速度により下記のように異なります。

- ◆ 60Hz 電源地区での場合
 - 1/60sシャッター: 電源周波数とCCDの電荷蓄積時間がほぼ一致しており、フリッカは発生しません。
 - 高速シャッターの場合: ゆっくりとした輝度変化が発生します。シャッター速度が速くなるほど輝度変化の割合は大きくなります。
- ◆ 50Hz 電源地区での場合
 - 1/60sシャッター: 約20Hz周期のフリッカが発生します。FLICKER設定をONにすることで補正することができます。
 - 1/100sシャッター: フリッカは発生しません。1/60sシャッターに比較して約半分に感度が低下しますので低照度時にはご注意ください。
 - 1/250s以上の高速シャッター: かなり激しいフリッカが発生します。高速シャッターが必要な場合には自然光または白熱点灯照明をご使用ください。

13. 逆光補正機能について

逆光補正用の測光枠は画面上の 15(水平)×15(垂直)に分割した枠の中でエリアを設定することができます。設定メニュー「WIDTH」では測光枠の右下角を移動して大きさを、「LOCATE」では測光枠の左上角を移動して測光枠の位置を設定します。※設定項目「WIDTH」、「LOCATE」設定中は、設定値の増減と連動して設定エリアが明るく表示されます。

14. マスキングについて

1. マスキング機能とは、画面上で表示を隠したいエリアをグレー表示することで、画面のマスキングを行う機能です。監視画面にプライバシーや機密に関するものが映ってしまうような場合、本機能を使って画面をマスキングすることでプライバシーや機密を守ることができます。
2. マスキング表示は、画面上の 40(水平)×30(垂直)に分割した枠の中でエリアを設定することができます。設定メニュー「WIDTH」ではマスキングの右下角を移動して大きさを、「LOCATE」ではマスキングの左上角を移動して位置を設定します。
3. マスキング表示は、最大 3 箇所まで表示することができます。それぞれのマスキングは独立して設定可能で、重ねて表示を行うことも可能です。1 つのマスキング形状は四角ですが、重ねて表示することで様々な形を設定することが出来ます。

15. CCDの白傷について

CCDは宇宙線の影響により、まれに白傷が発生することが報告されております。定量的データはまだありませんが、高度の高い地点での設置、航空機によるCCD(セット含む)輸送により発生頻度が高くなる事が確認されておりますので極力航空機による製品輸送は避けてください。

現時点でこれを防ぐ有効な手段はありません。本機は S/W による白傷補正を行っており、従来機種に比べ、白傷は改善されておりますが、細かな傷等が残る場合があります。白傷により運用上の弊害が発生した場合はCCD交換を推奨いたします。(有料)

16. お手入れのしかた

1. 電源を切ってからお手入れをしてください。
2. 汚れがひどいときは、水で十分うすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼり、拭いてください。
3. 水をかけないでください。内部に水が入り、故障の原因になります。

17. 故障かな？と思ったら

下記の点をもう一度お確かめください。お確かめの結果、なお異常のある場合は、機種名、接続構成、現象および発生時の状況を記録し、電源を切ってからサービスをお申しつけください。

1. 各ユニットの電源プラグがはずれていませんか？
2. 同軸ケーブルは正しく接続されていますか？
3. カメラに適合した規格の同軸ケーブルを使用していますか？(5C-2V もしくは 3C-2V)
4. モニタの電源スイッチは ON になっていますか？

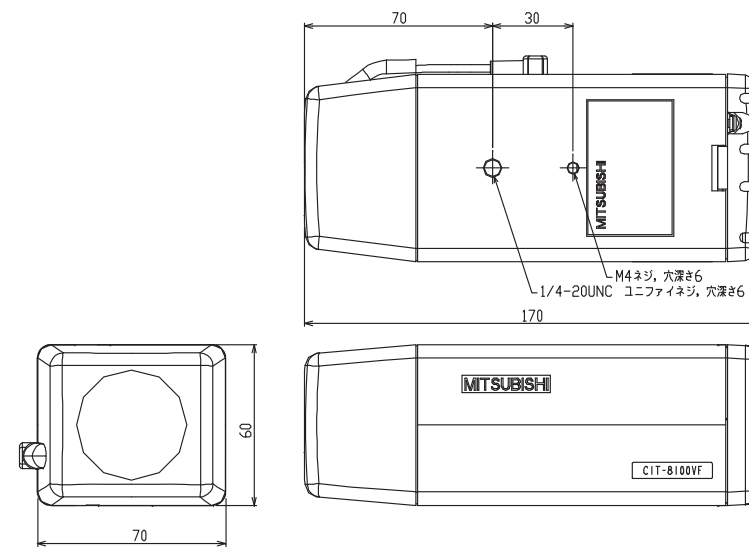
18. 保証とアフターサービス

1. 保証書は、販売店が所定事項を記入後お渡ししますので、お受け取りの際は「保証期間」、「販売会社」をご確認の上、大切に保管してください。
2. 保証規定
 - (1) 保証期間内(お買上げ日より 1 年間)に正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
 - (2) 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。
 - ① ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ② 火災、地震、水害、塩害、異常電圧、指定外の使用電源、その他天災地変などによる故障及び損傷。
 - ③ 特殊環境(たとえば極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など)による故障及び損傷。
 - ④ 保証書のご提示がない場合。
 - ⑤ 保証書の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ⑥ 保証書は、日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN)
3. 補修用性能部品の保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後7年です(性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品です)。詳しくはお求めの販売店にご相談ください

19. 仕様

| | |
|------------------|--|
| 撮像素子 | 1/3 型 CCD、インターライン転送方式 |
| 有効画素数 | 768(H)×494(V)、有効 38 万画素 |
| 走査方式 | 2:1 インターレース |
| 走査周波数 | 水平 15.743 kHz、垂直 59.940 kHz |
| 同期方式 | 内部同期 (±50ppm) / 外部同期 |
| 映像出力 | 外部同期信号は映像出力端子より入力、カメラコントローラ相当品より供給
VBS : 1.0 Vp-p / 75Ω (同軸ケーブル直付)
(ローカルモニタ出力、φ2.5 ミニチュアジャック) |
| 解像度 | 標準時 水平 : 480 本以上、垂直 : 350 本以上
電子増感時 水平 : 460 本以上、垂直 : 260 本以上 |
| S/N | 50dB 以上 (AGC OFF 時) |
| ダイナミックレンジ | SFV 機能あり |
| SFV 画質調整機能 | 高速側電子シャッター-AUTO / MANU 設定
高速側電子シャッター-AUTO 時 : 高速側シャッター映像レベル設定
高速シャッター-MAX 速度設定
高速側電子シャッター-MANU 時 : 高速側シャッター速度設定 |
| 電子ズーム | 2 倍 |
| 電子シャッター | 1/60, 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000 秒 |
| 電子増感 | 標準感度の 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16 倍 |
| 最低被写体照度 | 標準時 : 0.800 lx (F1.4, 1/60 秒)
電子増感時 : 0.05 lx (F1.4, 電子増感 16 倍) |
| 最大伝送距離 | 500m (カメラコントローラ相当品間、同軸ケーブル 5C-2V 使用時) |
| 使用温度、湿度 | -10~+50°C、80%RH 以下 (但し、結露しないこと) |
| 保管温度 | -20~+60°C |
| 冷却方式 | 自然空冷 |
| 電源 | VP 多重 (カメラコントローラ相当品より供給) |
| レンズ | 約 2.8 倍パリアフォーカルレンズ (専用品) |
| 焦点距離 | f = 2.8mm~8.0mm |
| 画角 | 水平 : 99.86° ~35.23°、垂直 : 73.28° ~26.40° |
| アイリス駆動方式 | DC 駆動 |
| フリッカ補正機能 | 有り |
| リモコン機能 | カメラコントローラなどにより各種機能設定可能(映像出力ケーブルに多重)。
制御信号のインターフェイス概要。フレーム構成はワンライン仕様書による。 |
| 外部同期位相調整 | H 位相 24 段階 |
| 逆光補正機能 | 有り(エリア選択式) |
| ピーク測光機能 | 有り |
| グラデーション機能 | ガンマ、ニー、セットアップ、ホワイトクリップの設定可能。 |
| カメラ ID 表示 | カナ、英数字、記号 12 桁、表示位置を 6 箇所から選択可能。 |
| マスキング機能 | 有り(最大 3 箇所) |
| ホワイトバランス | 自動 / 手動 / ロック |
| エリア選択式 AWB | 有り |
| イメージシーンフィッティング機能 | 有り |
| 音声入力 | マイク内蔵 (映像出力ケーブルに多重出力) |
| 構造 | IP30 (JIS C 0920 屋内型) |
| 質量 | 480g 以下 |
| 外観色 | マンセル 5.4Y7.2/0.5 近似色 (グレー) |
| 外観寸法 | 70 (W) × 60 (H) × 170 (D) |
| 付属品 | 取扱説明書 / 保証書 1 部 |

20. 外形図



21. 据付工事後の確認

据付工事が終わりましたら、下表に従ってもう一度点検してください。

不具合がありましたら、必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。)

安全性に係わる項目

| No. | 項目 | 判定 |
|-----|---|--------|
| 1 | 金属類や燃えやすいものを内部に入れていないか。 | YES NO |
| 2 | 他のものを上に置いていないか。 | YES NO |
| 3 | 指定のカメラコントローラなどを使用しているか。 | YES NO |
| 4 | ケースをはずしたり、改造したりしていないか。 | YES NO |
| 5 | 重いものを載せたり熱器具のそばに設置していないか。 | YES NO |
| 6 | 直射日光のあたる所に設置していないか。 | YES NO |
| 7 | 衝撃、振動のある所に設置していないか。 | YES NO |
| 8 | 据付場所は、カメラの重量に十分耐えられるか。 | YES NO |
| 9 | 据付場所に合った据付ネジを使用しているか。 | YES NO |
| 10 | 取付足(別売品)はネジ4本で固定しているか。 | YES NO |
| 11 | カメラの固定は十分か。 | YES NO |
| 12 | カメラケーブルの固定によるケーブルクランプ及び芯線の接続端子ネジのゆるみはないか。 | YES NO |
| 13 | カメラコントローラ側でコネクタの抜けることはないか。 | YES NO |
| 14 | ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしていないか。 | YES NO |

性能・機能に係わる項目

| No. | 項目 | 判定 |
|-----|---|--------|
| 1 | 使用場所の周囲温度・湿度は規格内か。 | YES NO |
| 2 | 結露する場所で使用していないか。 | YES NO |
| 3 | 同軸ケーブルの近くに電力、アンテナケーブルが配線されていないか。 | YES NO |
| 4 | カメラ～カメラコントローラ間は、5C-2V[3C-2V]ケーブルで 500m[300m]を超えていないか。 | YES NO |
| 5 | レンズはDC駆動タイプを使用しているか。 | YES NO |

注)[]内は 3C-2V ケーブル使用時の値です。

22. 試運転

- 試運転は、お客様及び販売店の立ち会いのもとで行ってください。
- 別冊の取扱説明書に基づいて、操作手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店からご説明ください。特に、「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。